

活断層データベース 地下構造可視化システム

長 郁夫(産総研)

活断層DBのオプション

活断層データベース

トップ
検索入口
最近の地震
このデータベースについて
用語解説
ご利用にあたって
よくある質問
ご意見・ご感想
アーカイブ
サイトマップ
English

■よくある質問

■使い方

■検索入口

起震断層・活動セグメント検索

活断層関連文献検索

調査地検索

産総研による
活断層・津波堆積物調査

■オプション機能

活断層の地下構造閲覧
地下構造可視化システム

最新情報

「起震断層」、「活動セグメント」とは？

■2020年1月7日

- ・「産総研による活断層調査」を「産総研による活断層・津波堆積物調査」に変更し、宮城県地域における津波堆積物調査の成果を掲載するとともに、凡例を追加・修正しました。
- ・「起震断層・活動セグメント検索」等のマップの凡例デザインを変更しました。
- ・アーカイブページを再度表示出来るようにしました。
- ・サイト内の「歴史地震」という語句を見直し、より適切に「歴史地震を含む主な内陸地震」と変更しました。
- ・「震源位置リアルタイム表示」が正常に動作するようになりました。
- ・英語版に日本語タイトル等が表示されていた不具合を修正しました。

■2019年5月24日

- ・「主な被害地震」に2014年12月以降のデータを追加しました。
- ・現在「震源位置リアルタイム表示」が正常に機能していません。原因解明と修復に努めておりますが、機能回復までしばらくお待ちください。
- ・ご意見・ご感想ページのメールフォームが正常に機能していません。機能回復までの間は[こちら](#)に記載のメールアドレスまたは電話番号にご連絡下さい。

■2019年5月10日

- ・平成28年（2016年）熊本地震の調査結果（調査地点及び地震断層トレース）を、「産総研による活断層調査」画面に追加しました。データは[こちら](#)からダウンロードできます。

歴史地震を含む主な内陸地震を起こした活断層

<ul style="list-style-type: none"> ・1998年 岩手県内陸北部の地震 平石盆地西縁活動セグメント ・1995年 兵庫県南部地震(阪神淡路大震災) 北淡活動セグメント ・1948年 福井地震 金津活動セグメント ・1945年 三河地震 横須賀活動セグメント 深溝活動セグメント ・1943年 鳥取地震 鹿野活動セグメント ・1930年 北伊豆地震 丹那活動セグメント 修善寺活動セグメント 短之湯活動セグメント 		<p style="color: blue; font-weight: bold;">活断層パラメータ別ランキング(Google maps版)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長さ TOP30 ・平均変位速度 TOP30 ・単位変位量 TOP30 ・平均活動間隔 TOP30 ・地震後経過率 TOP30 ・将来活動確率 TOP30 (今後30年以内BPT分布モデル) ・将来活動確率 TOP30 (今後30年以内ポアソン過程モデル)
--	--	---

「活動セグメントを全て表示」し、「対応歴史地震」で並べ替えると、さらに歴史を遡る事ができます。

はじめにお読みください

本データベースに収録した情報は、産業技術総合研究所の調査研究の結果と他機関による公表データに基づき、産業技術総合研究所で独自に編集・解釈したものです。したがって、地震調査研究推進本部の評価等とは一致しない場合があります。基図に用いた地図には誤差があり、現況と異なる可能性があります。また、表示される断層の位置についてはあくまで概略位置であり、場所によっては最大で数百メートルの誤差がある可能性があります。なお、表示される断層線の幅は、実際の活断層の幅を示すものではありませんので、ご留意下さい。また、本データベースは、これに表示された断層線以外に活断層が存在する可能性を否定するものではありません。

本データベースの基図（ベースマップ）として使用しているグーグルマップの地図の表記は、産総研の公式な見解ではありません

活動セグメント
簡易検索

検索

直接検索

産総研 地下構造可視化システム

すべて 画像 ニュース 地図 ショッピング もっと見る 設定 ツール

約 53,700 件 (0.43 秒)

産総研 地下構造可視化システム も含めた検索結果を表示しています
産総研 地下構造可視化システム のみで検索

gbank.gsj.jp › subsurface ▼

地下構造可視化システム 産業技術総合研究所

最新情報: オンデマンド版のGoogle Maps画面にシームレス地質情報の重ね描き機能が追加されました。詳しくはこれまでの更新履歴をごらんください。概要: 地下構造可視化システムは、日本の活断層の地下構造として3次元的な物性値 (現時点では弾性波 ...

可視化システムトップ



活断層データベース

AIST

地下構造可視化システム

— 活断層の地下構造 —

Visualization system for subsurface structures

可視化トップ | はじめに | データ | 用語解説 | ご利用にあたって | ダウンロード | 簡易版 | オンデマンド版

地下構造可視化システム トップ

[お問い合わせはこちらへ](#)
English version here

最新情報

オンデマンド版のGoogle Maps画面にシームレス地質情報の重ね描き機能が追加されました。
詳しくはこれまでの更新履歴をごらんください。

概要

地下構造可視化システムは、日本の活断層の地下構造として3次元的な物性値（現時点では弾性波速度のみ）の分布を見るためのシステムです。地殻や上部マントルを概観するような規模のスケールの物性値構造と様々な地質情報とを併せて表示できます。詳しい説明は「はじめに」をご覧ください。

簡易版 (右上) は、私たちがあらかじめ選んだ測線に沿って描画した地下構造画像へのリンクです。

オンデマンド版 (右下) では、ご自分で測線をひいて地下構造を描画することができます。描画にはやや時間がかかりますが、任意の測線で詳細な描画設定が可能です。

初めて利用される方へ

本システムは関連分野の多くの研究者の研究成果から成り立つものです。本データベースの基図（ベースマップ）として使用しているグーグルマップの内容に関しては、産総研のいかなる見解も示すものではなく保証も行いません。

地下構造可視化システムの描画結果をご利用の際は「ご利用にあたって」を、それ以外のコンテンツをご利用の際は「活断層データベースに関するご利用上の注意」をご一読下さい。

簡易版
あらかじめ描画済みの地質情報/地下構造画像をご覧ください

オンデマンド版
ユーザの選択した箇所で描画します

地下構造可視化システムは、日本の活断層の地下構造として3次元的な分布を見るためのシステムです。地殻や上部マントルを概観するような規模のスケールの物性値構造と様々な地質情報とを併せて表示できます。

ユーザビリティ

簡易版とオンデマンド版

目玉コンテンツ

- ・活断層と地殻構造トモグラフィ, 地震震源
- ・マップと鉛直断面(任意の断面を抽出)
- ・海陸プレートの構造
- ・産総研の各種DBとの連携

簡易版

地下構造可視化システム

— 活断層の地下構造 —

Visualization system for subsurface structures

可視化トップ

はじめに

データ

用語解説

ご利用にあたって

ダウンロード

簡易版

オンデマンド版

簡易版

あらかじめ描画済みの地質情報/地下構造を
ご覧いただけます

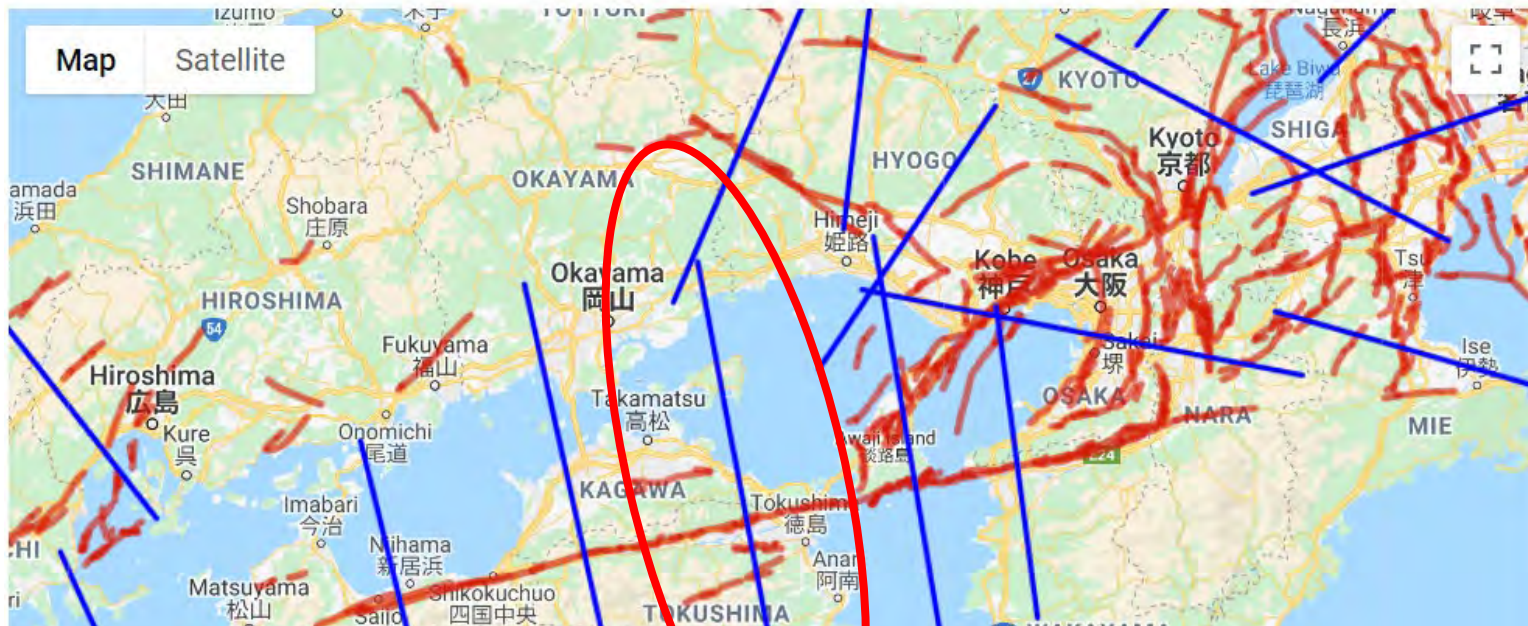
オンデマンド版はこちら

[English version here](#)

地図上に示された測線をクリックすると、周辺部の地質情報と地震波トモグラフィによる地下構造画像へのリンクが表示されます。地震波トモグラフィとは、地震波を用いて地下の3次元的な物性値の分布を解析すること、あるいはその結果のことです。

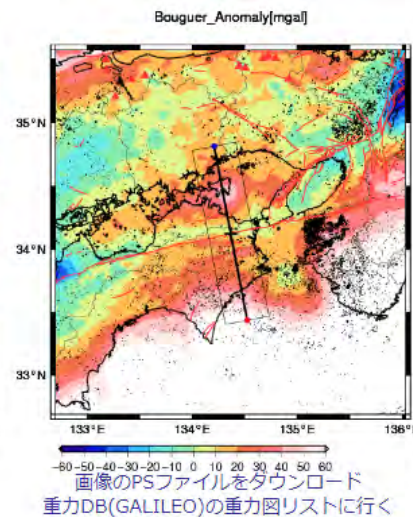
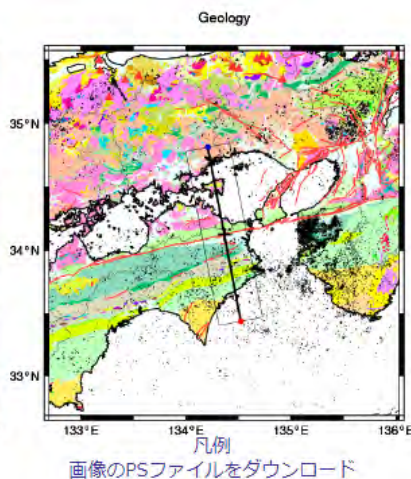
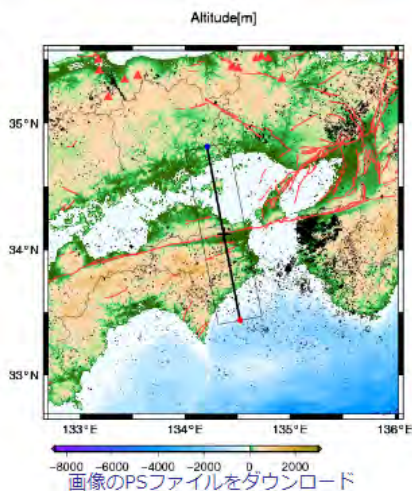
チェックボックスから測線を選択してください（デフォルトとして「活断層」「活断層ごとの測線」が表示されています）。

活断層（赤） 活断層ごとの測線（青） 日本を横断する測線（ピンク）

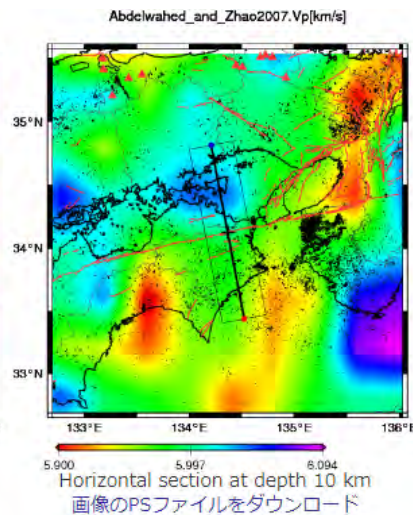
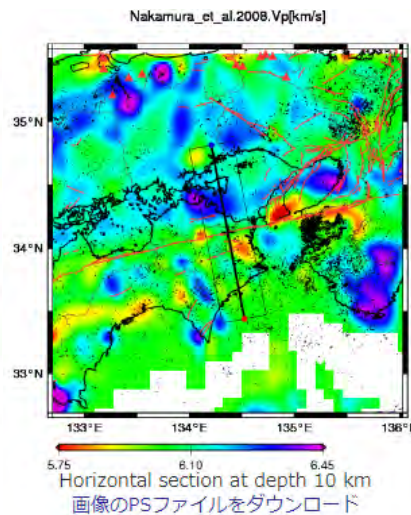
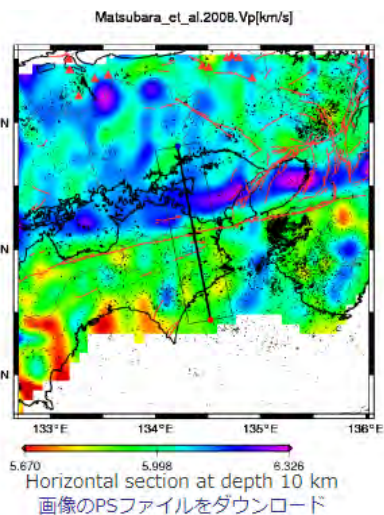


活断層の 地下構造

地形
地質
重力異常

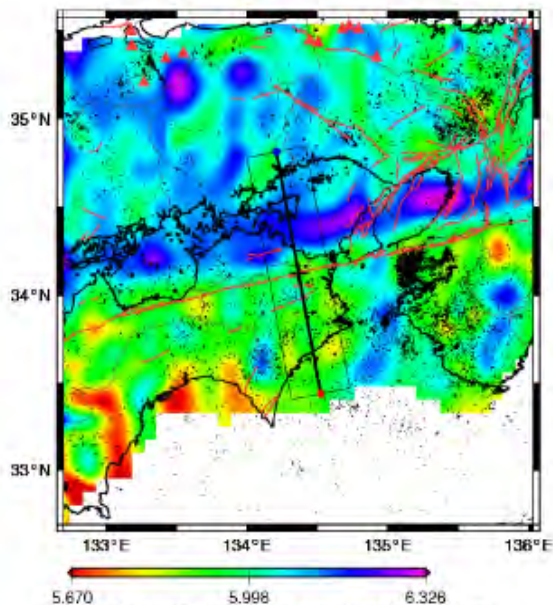


Vp
水平断面



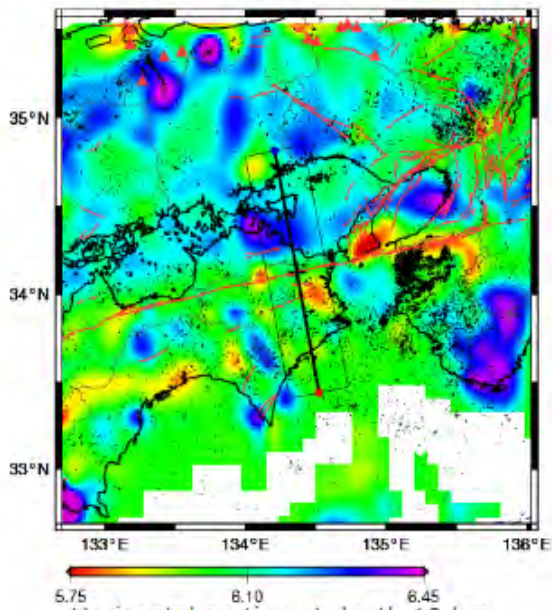
Vp
水平断面

Matsubara_et_al.2008
数値データのダウンロードサイト
Matsubara_et_al.2008.Vp[km/s]



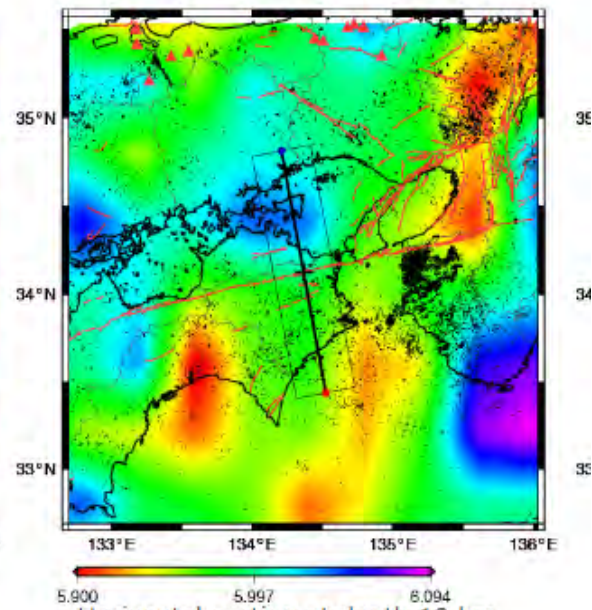
Horizontal section at depth 10 km
画像のPSファイルをダウンロード

Nakamura_et_al.2008
数値データのダウンロードサイト
Nakamura_et_al.2008.Vp[km/s]



Horizontal section at depth 10 km
画像のPSファイルをダウンロード

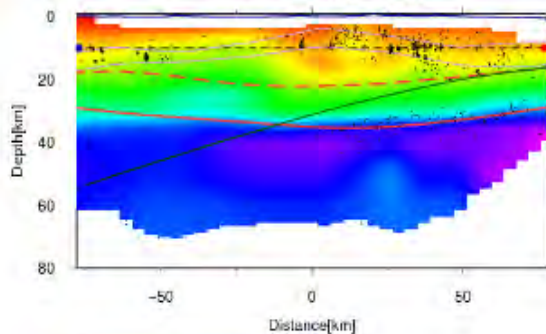
Abdelwahed_and_Zhao2007
数値データのダウンロードサイト
Abdelwahed_and_Zhao2007.Vp[km/s]



Horizontal section at depth 10 km
画像のPSファイルをダウンロード

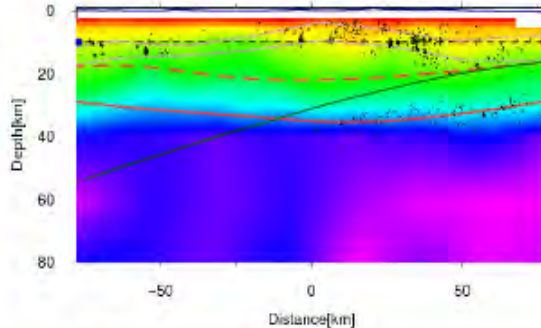
Vp
水平断面

Matsubara_et_al.2008.Vp[km/s]



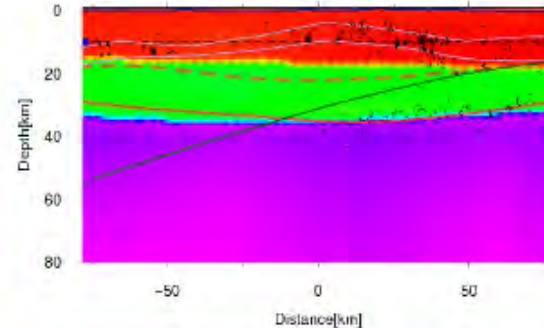
画像のPSファイルをダウンロード

Nakamura_et_al.2008.Vp[km/s]



画像のPSファイルをダウンロード

Abdelwahed_and_Zhao2007.Vp[km/s]



画像のPSファイルをダウンロード

簡易版

地下構造可視化システム

— 活断層の地下構造 —

Visualization system for subsurface structures

可視化トップ

はじめに

データ

用語解説

ご利用にあたって

ダウンロード

簡易版

オンデマンド版

簡易版

あらかじめ描画済みの地質情報/地下構造を
ご覧いただけます

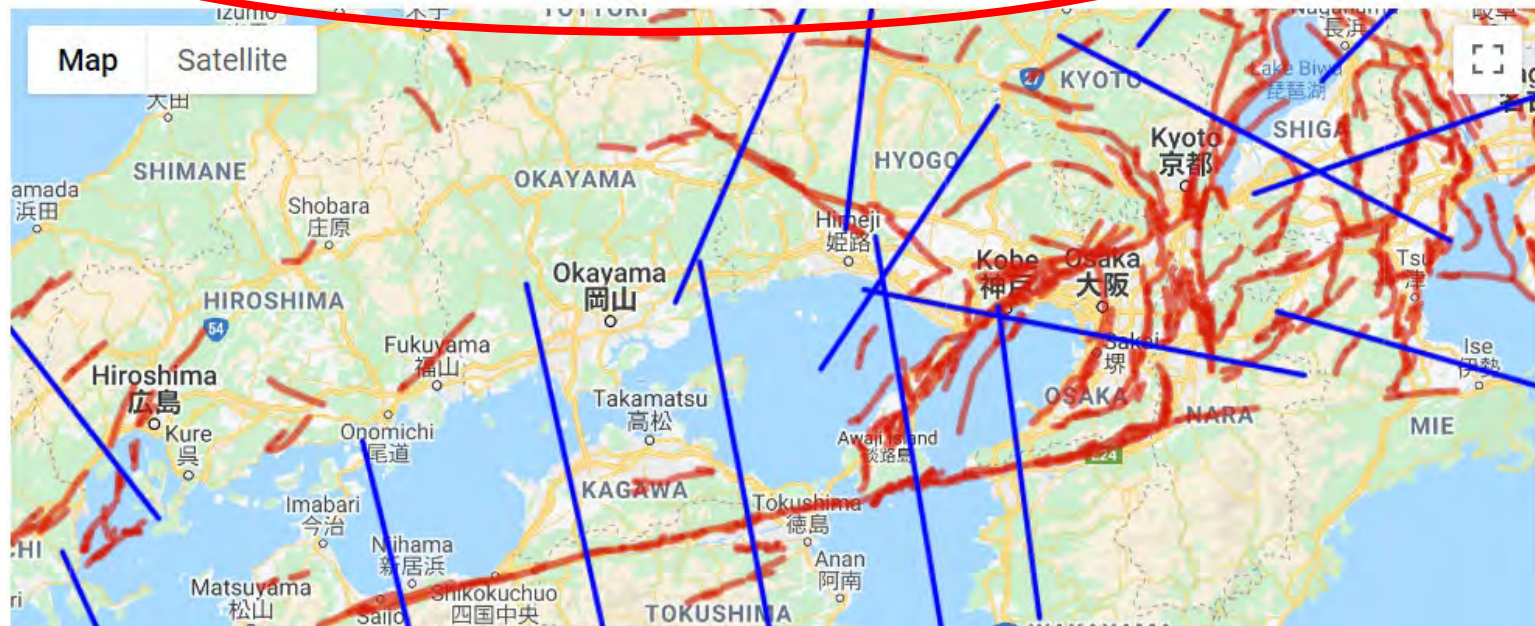
オンデマンド版はこちら

English version here

地図上に示された測線をクリックすると、周辺部の地質情報と地震波トモグラフィによる地下構造画像へのリンクが表示されます。地震波トモグラフィとは、地震波を用いて地下の3次元的な物性値の分布を解析すること、あるいはその結果のことです。

チェックボックスから測線を選択してください（デフォルトとして「活断層」「活断層ごとの測線」が表示されています）。

活断層（赤） 活断層ごとの測線（青） 日本を横断する測線（ピンク）



簡易版

地下構造可視化システム

— 活断層の地下構造 —

Visualization system for subsurface structures

可視化トップ | はじめに | データ | 用語解説 | ご利用にあたって | ダウンロード | 簡易版 | オンデマンド版

簡易版 あらかじめ描画済みの地質情報/地下構造をご覧ください

[オンデマンド版はこちら](#)

[English version here](#)

地図上に示された測線をクリックすると、周辺部の地質情報と地震波トモグラフィによる地下構造画像へのリンクが表示されます。地震波トモグラフィとは、地震波を用いて地下の3次元的な物性値の分布を解析すること、あるいはその結果のことです。

チェックボックスから測線を選択してください（デフォルトとして「活断層」「活断層ごとの測線」が表示されています）。

活断層（赤） 活断層ごとの測線（青） 日本を横断する測線（ピンク）

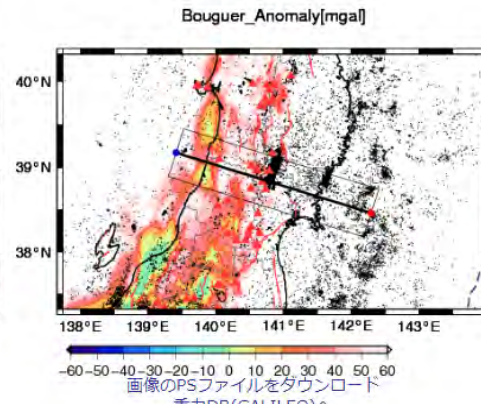
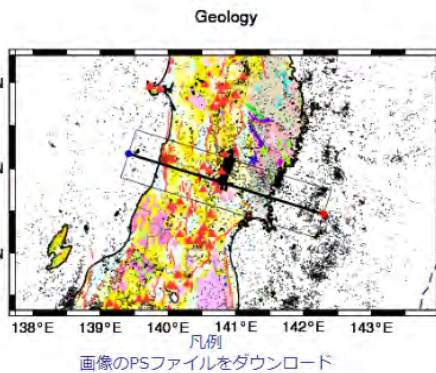
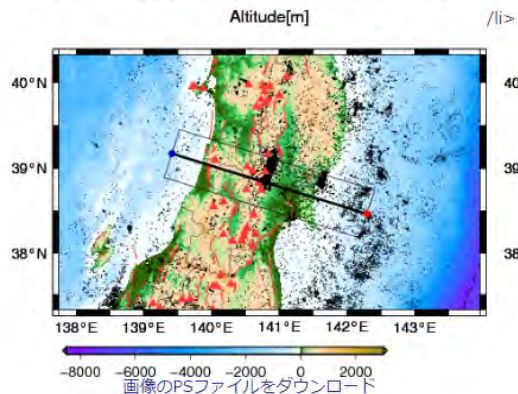


Map | Satellite

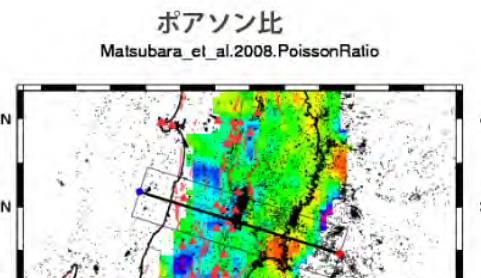
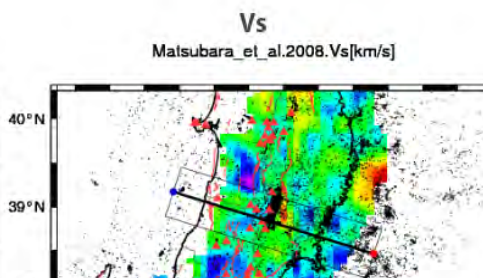
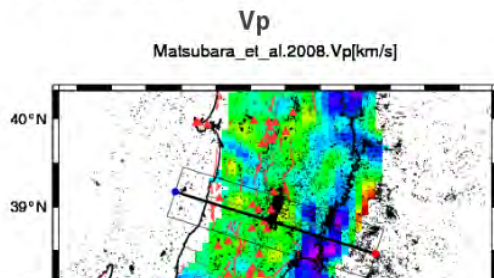
Ussuriysk | Artem | Vladivostok | Vladivostok

Asahikawa | Abashiri | Kitami | Sapporo | Hokkaido | Sendai | Niigata

Sea of Japan

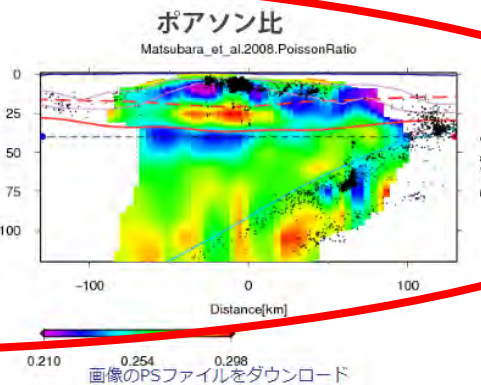
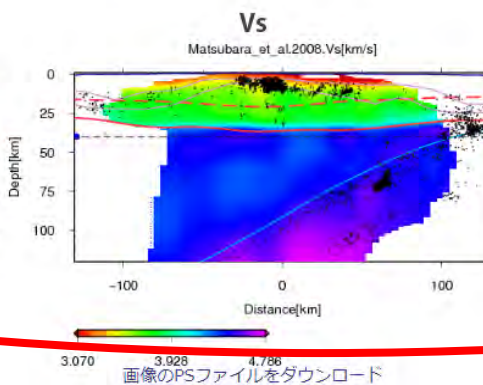
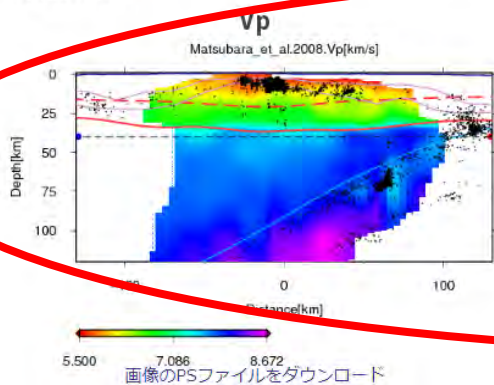


水平断面 深さ40km



沈み込むプレートや地震の分布

鉛直断面



可視化システムトップ

活断層データベース

AIST

地下構造可視化システム

— 活断層の地下構造 —

Visualization system for subsurface structures

可視化トップ | はじめに | データ | 用語解説 | ご利用にあたって | ダウンロード | 簡易版 | オンデマンド版

地下構造可視化システム トップ

[お問い合わせはこちらへ](#)
English version here

最新情報

オンデマンド版のGoogle Maps画面にシームレス地質情報の重ね描き機能が追加されました。
詳しくはこれまでの更新履歴をごらんください。

概要

地下構造可視化システムは、日本の活断層の地下構造として3次元的な物性値（現時点では弾性波速度のみ）の分布を見るためのシステムです。地殻や上部マントルを概観するような規模のスケールの物性値構造と様々な地質情報とを併せて表示できます。詳しい説明は「はじめに」をご覧ください。

簡易版 (右上) は、私たちがあらかじめ選んだ測線に沿って描画した地下構造画像へのリンクです。

オンデマンド版 (右下) では、ご自分で測線をひいて地下構造を描画することができます。描画にはやや時間がかかりますが、任意の測線で詳細な描画設定が可能です。

初めて利用される方へ

本システムは関連分野の多くの研究者の研究成果から成り立つものです。本データベースの基図（ベースマップ）として使用しているグーグルマップの内容に関しては、産総研のいかなる見解も示すものではなく保証も行いません。

地下構造可視化システムの描画結果をご利用の際は「ご利用にあたって」を、それ以外のコンテンツをご利用の際は「活断層データベースに関するご利用上の注意」をご一読下さい。

簡易版
あらかじめ描画済みの地質情報/地下構造画像をご覧ください

オンデマンド版
ユーザの選択した箇所で描画します

オンデマンド版

地下構造可視化システム

— 活断層の地下構造 —

Visualization system for subsurface structures

可視化トップ

はじめに

データ

用語解説

ご利用にあたって

ダウンロード

簡易版

オンデマンド版



オンデマンド版

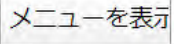
ユーザの選択した箇所
で描画します




簡易版はこちら

[English version here](#)

地図上に示された測線 (赤ライン) 端部のマーカー  をドラッグして、ページ左下の「描画」ボタン  を押せば周辺部の地質情報と地震波トモグラフィによる地下構造画像を描画できます。地震波トモグラフィとは、地震波を用いて地下の3次元的な物性値の分布を解析すること、あるいはその結果のことです。
描画例 (トモグラフィ画像の凡例)

Google Mapsに次のシームレス地質情報とその他の地質情報  を重ね描きできます。

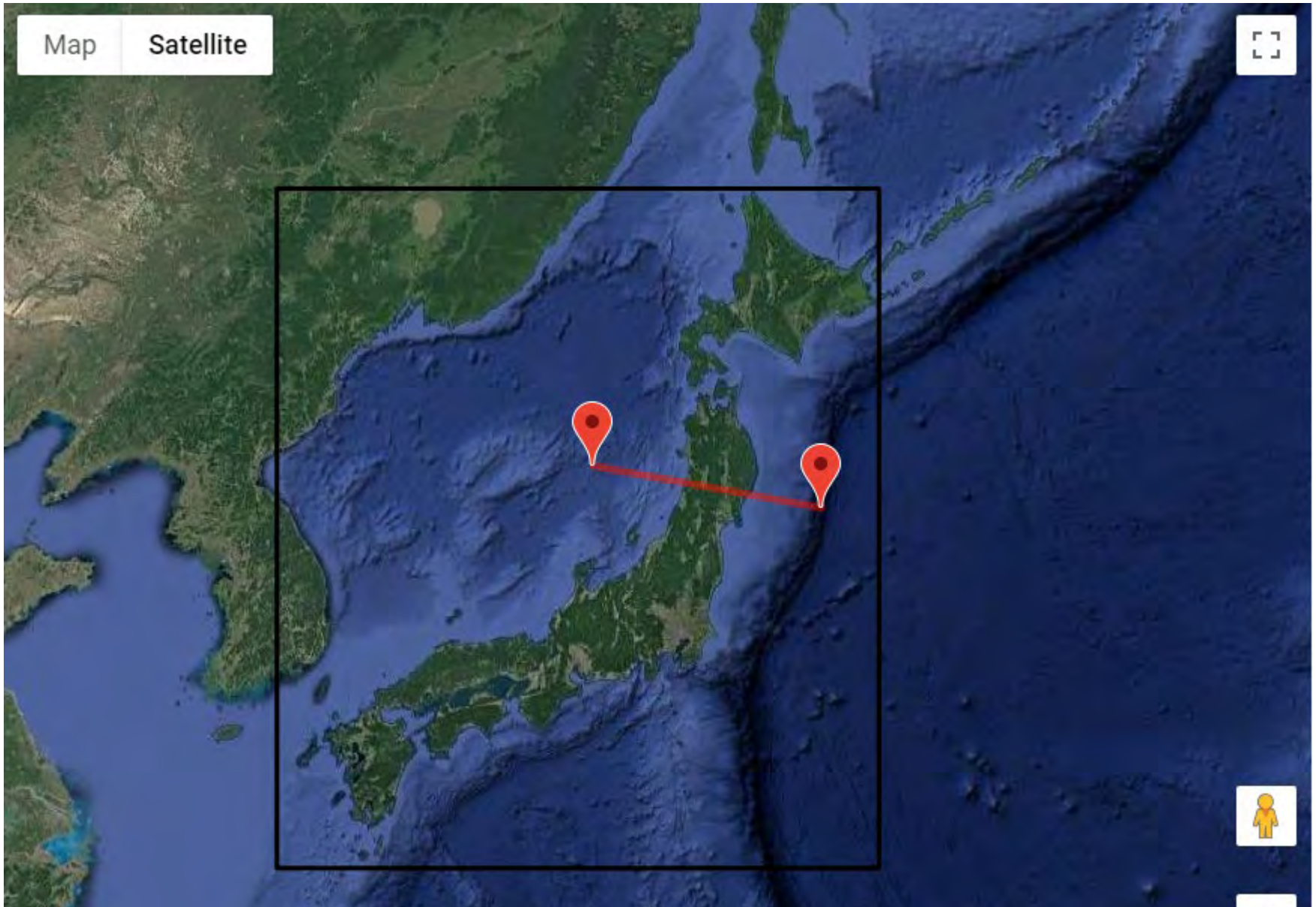
- 地震の震央 (気象庁による全国の震源カタログ )
- 20万分の1日本シームレス地質図[®](凡例)。

なお描画リクエストごとにデータの切り出しと画像処理を行うので、画像表示までに数10秒 (領域の大きさによっては1分以上) かかります。一方、簡易版では測線を任意に決めることはできませんが、描画済の地下構造画像を大量にストックしてあります。瞬時に画像が表示されますので、そちらも併せてご利用ください。



【使い方】各マーカーをドラッグして測線 (断面線) を決めて項目を選び「描画」ボタンを押して下さい。
【便利】マーカークリックで緯度・経度が表示されます。【注意】マーカーは黒枠内にドロップして下さい。
また2つのマーカーを0.2° (20km弱) 以内に密接させるとエラーが出ます。

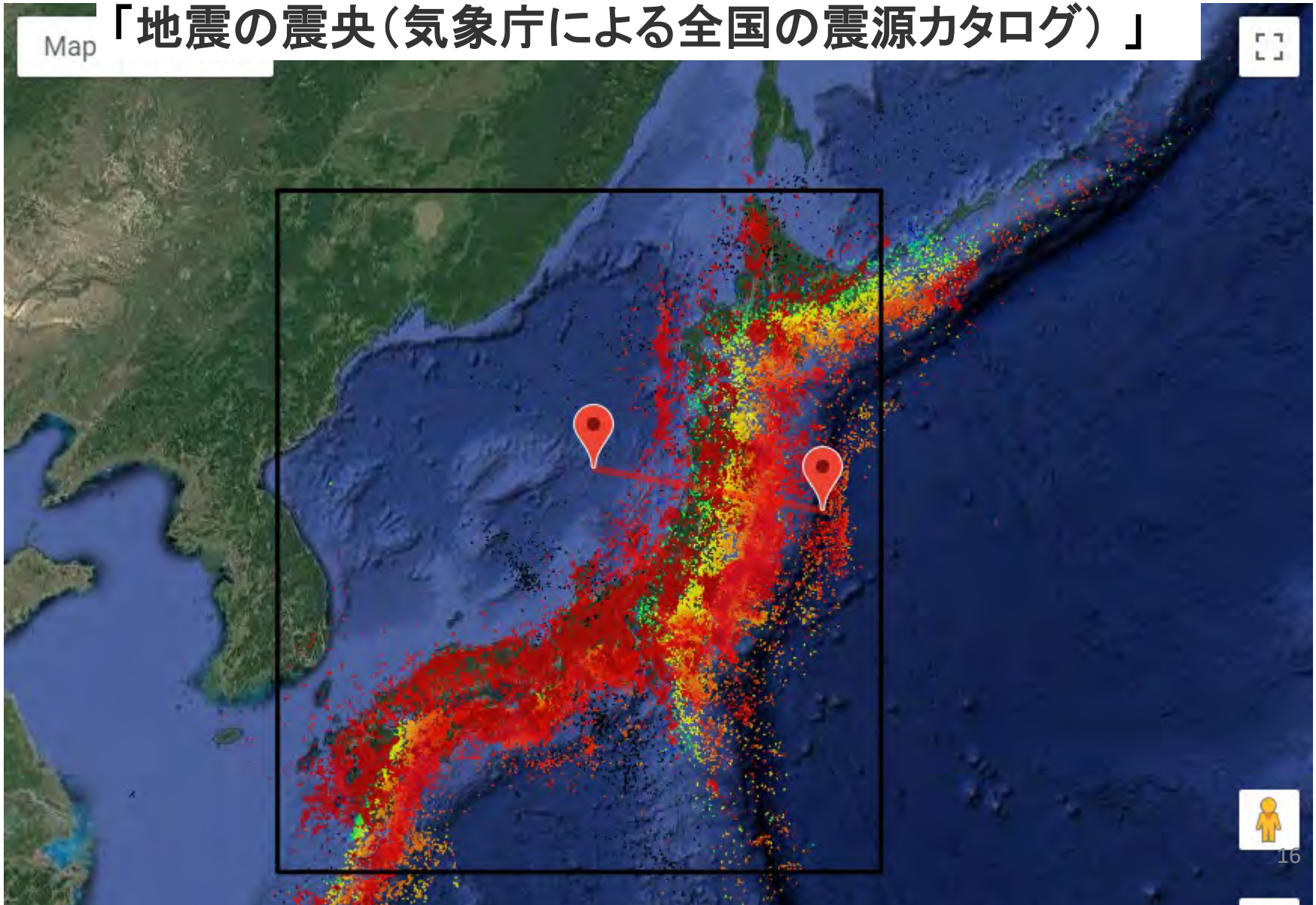
GoogleMapへの重ね描き



GoogleMapへの重ね描き

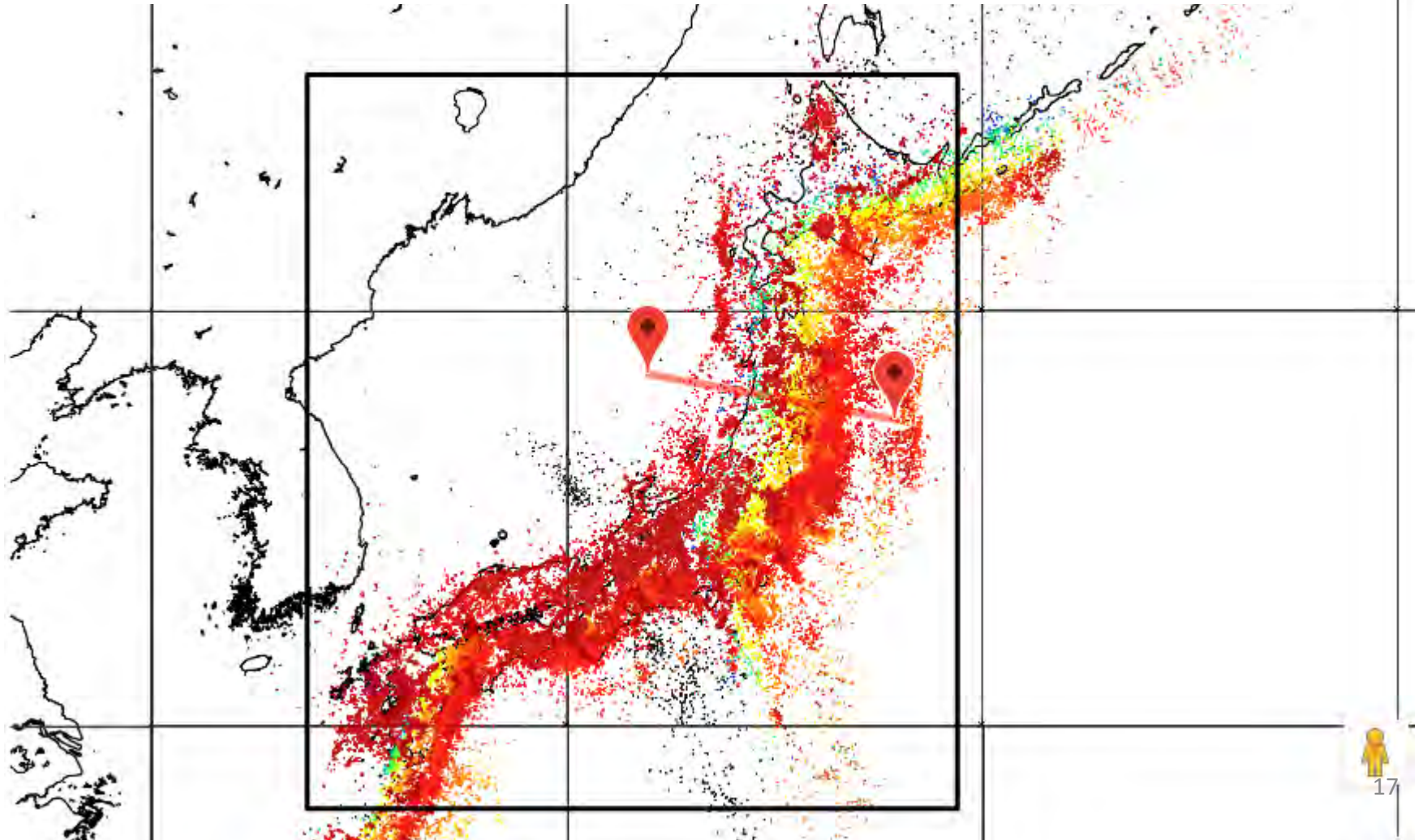
Map

「地震の震央(気象庁による全国の震源カタログ)」



GoogleMapへの重ね描き

「地震の震央(気象庁による全国の震源カタログ)」
「白地図」



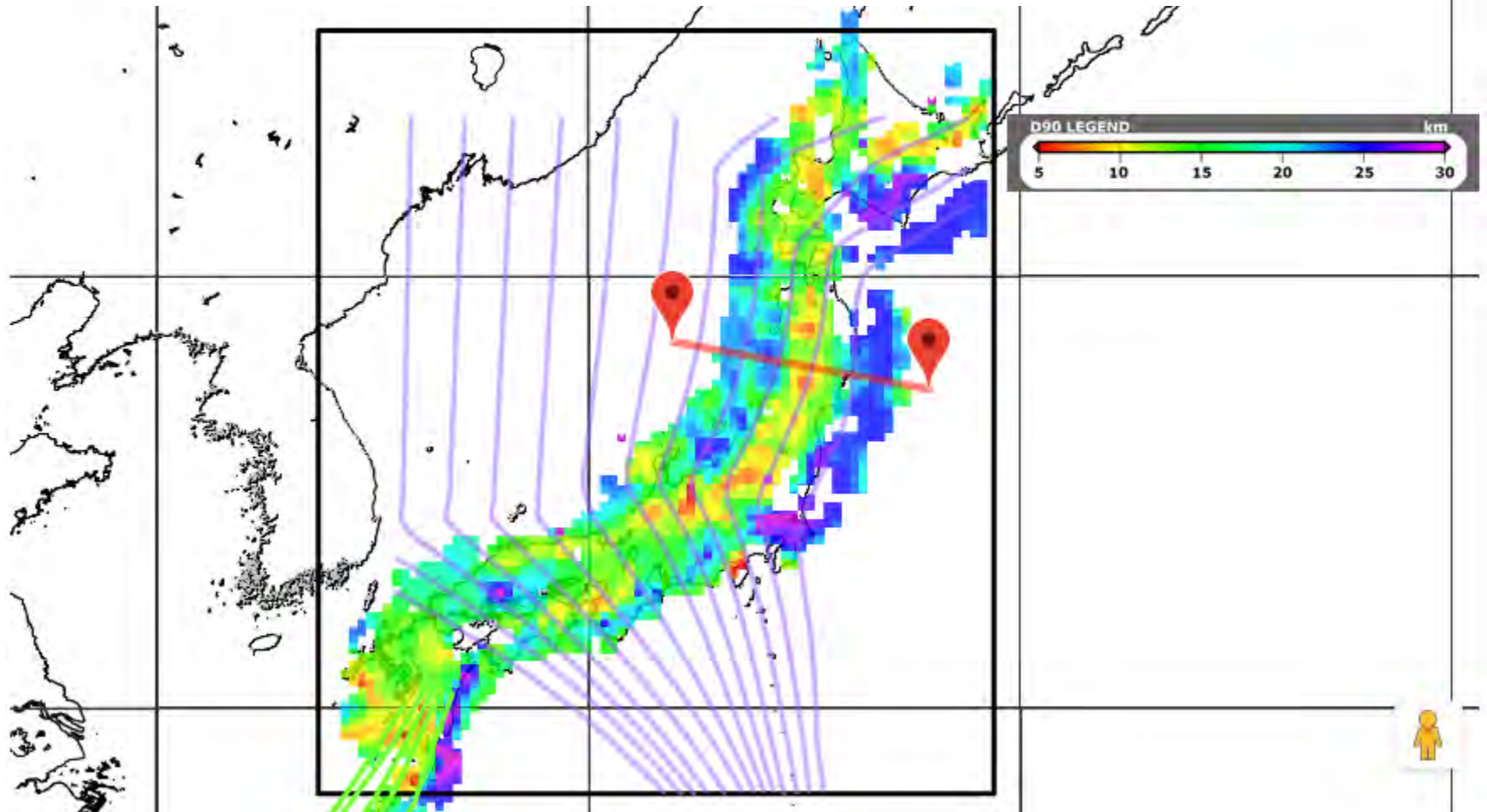
GoogleMapへの重ね描き

「地震発生層最大深度(D90)」

Map

「太平洋プレート等深度線」

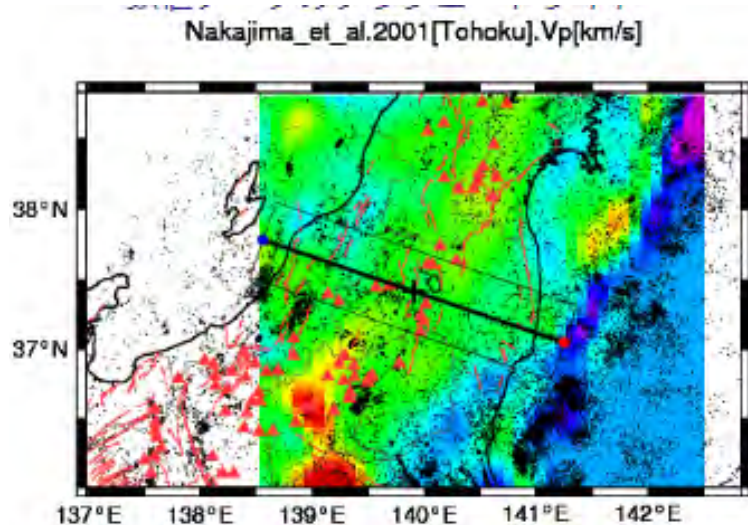
「白地図」



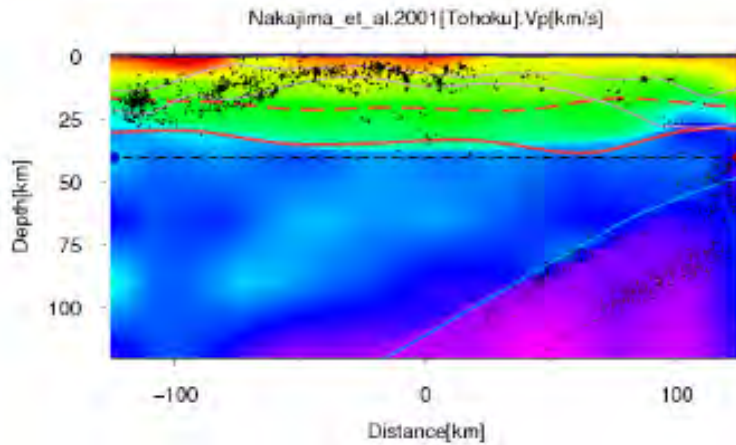
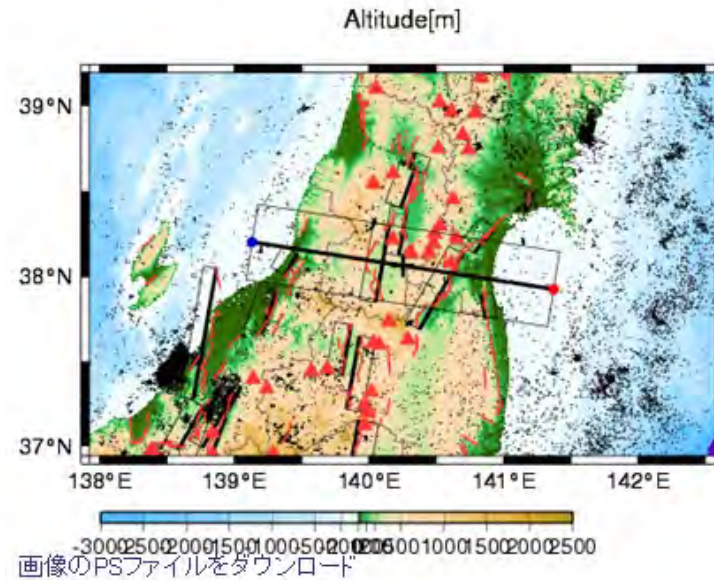
GoogleMapへの重ね描き

- 「日本の地形地盤デジタルマップ」
- 「20万分の1日本シームレス地質図®」
- 「活断層DB」
- 「東北日本の地質学的歪集中帯」
- 「30m深までの平均S波速度」
- 「重力異常(ブーゲー異常)」
- 「海域地質構造DB」
- 「地殻応力場DB (応力測定, SHmax) / (異方性, LSPD)」
- 「矩形断層」
- 「歴史地震 (679-2008年, M6.5以上)」
- 「地震の震央(気象庁による全国の震源カタログ)」
- 「地震発生層最大深度(D90)」
- 「太平洋プレート等深度線」
- 「フィリピン海プレート等深度線」

震源・地殻トモグラフィの描画 (Postscript)



凡例



地震波速度トモグラフィの研究成果を収集

「全国 by Matsubara et al. (2011)」 (Vp, Vs, P (ポアソン比), dVp, dVsを描画可)

範囲 全国(北海道から沖縄まで含む日本列島全体)

グリッド間隔 緯度経度方向に0.1° 間隔, 深さ方向に2.5km (深さ10km迄), 5km (<40km), 10km (<60km), 15km (<180km), 20km (<300km), 25km (300km以深) 間隔.

dVp, dVsの基準となる速度構造 深さごとのVp, Vsの空間平均を基準速度とした (ただしVp, Vsそれぞれconflim \leq 0.8を満たすデータのみ平均値の算出に利用した).

信頼度の指標 配布データファイルの「信頼度 (チェッカーボードテストを行った際, 周囲の12グリッドにおける仮定したパーターベーションと得られたパーターベーションの差から求められる数値. 0.8以下であれば信頼性は高い)」という記載値をconflimとして利用した. デフォルト値は0.8.

文献 Matsubara, M. and K. Obara, 2011, The 2011 Off the Pacific Coast of Tohoku earthquake related to a strong velocity gradient with the Pacific plate, Earth Planets Space, 63, 663-667, doi:10.5047/eps.2011.05.018.

備考 デジタルデータおよび専用の描画ソフトが 防災科学技術研究所のWEBサイトからダウンロード可. 同ページにはデータや分解能に関する記述がある.



13の地震波速度トモグラフィ

「全国 by Matsubara et al. (2011) 」

「全国 by Matsubara et al. (2008) 」

「全国 by Nakamura et al. (2008) 」

「全国 by Abdelwahed and Zhao (2007) 」

「全国 by Nishida et al. (2008) 」

「東北全体の速度構造 by Nakajima et al. (2001) 」

「新潟県中越地域 by Kato et al. (2006) 」

「新潟県中越地域 by 武田他 (2005) 」

「新潟神戸歪集中帯 by Nakajima and Hasegawa (2007) 」

糸魚川—静岡構造線周辺 by 笠原他 (2006) 」

「神戸 (近畿地方) by Zhao et al. (1996) 」

「紀伊半島・中国四国地方 by Nakajima et al. (2007EPSL) 」

「西南日本 by Nakajima et al. (2007JGR) 」

地震震源

「気象庁による全国の震源カタログ」

「糸静構造線沿いの精密震源決定結果 by 小原他 (2008)」

「1995年兵庫県南部地震周辺の地震活動 by Zhao et al. (1996)」

「2004年中越地震の余震分布 by Kato et al. (2006)」

構造線

「活断層」

「コンラッド・モホ面深度」

「太平洋プレート上面深度」

「フィリピン海プレート上面深度」

その他

「地形」

「第四紀火山」

「地質図」

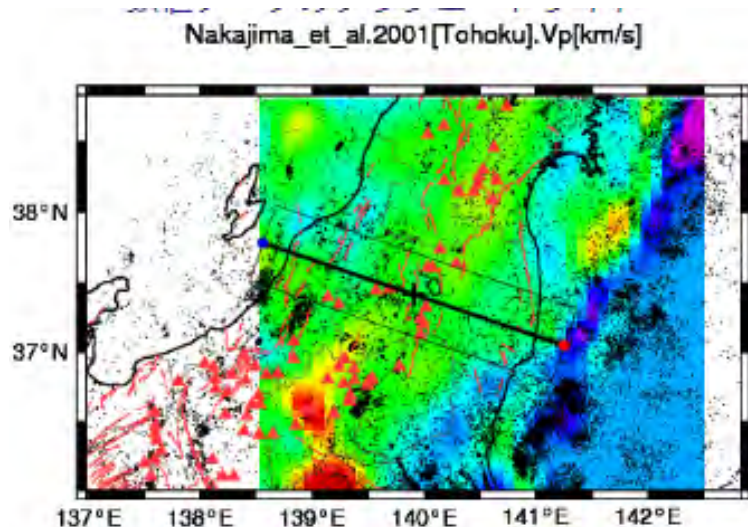
「重力異常」

「応力方位 (SHmax) 」／「S波異方性 (LSPD) 」

「地震発生層上下限深度 (D10, D90) 」

描画オプション

かゆいところに
手がとどく



6.790 7.762 8.734
Horizontal section at depth 40 km

画像のPSファイルをダウンロード

地震震源の絞り込み
マグニチュード

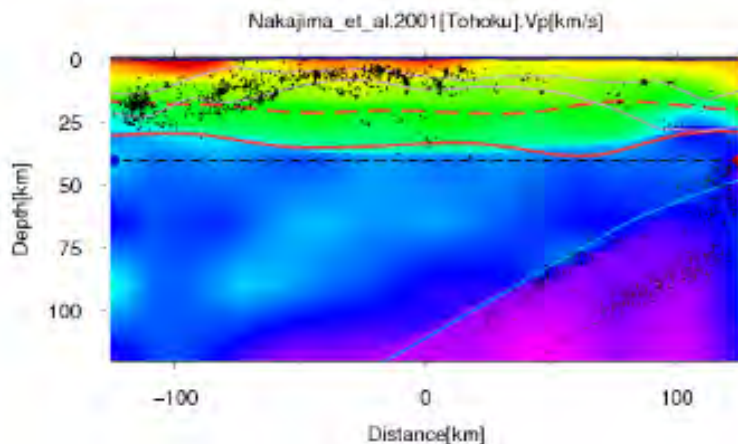
期間

深さ

震源のタイプ

誤差の上限

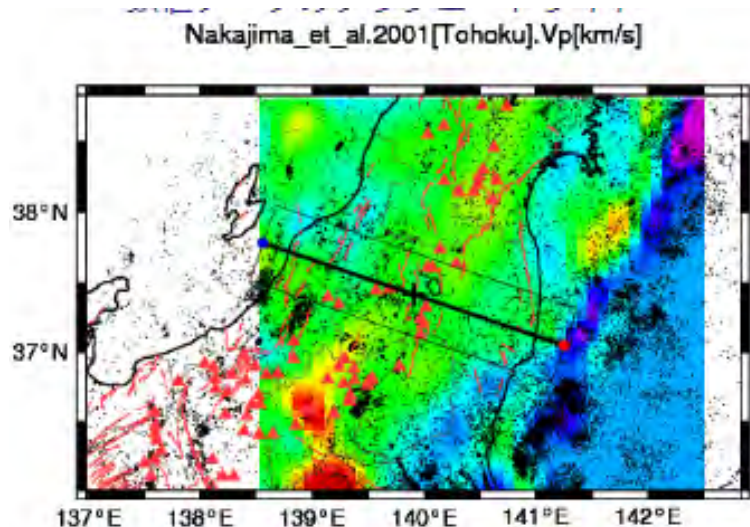
震源決定の観測点数



4.990 6.867 8.744

描画オプション

かゆいところに
手がとどく



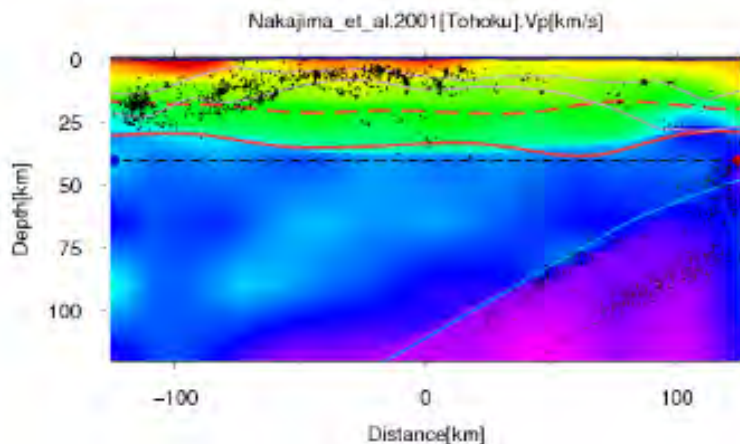
6.790 7.762 8.734

Horizontal section at depth 40 km

画像のPSファイルをダウンロード

矩形領域の幅
水平断面の深さ
アスペクト比
コンラッド/モホ
各種プレート
D10/D90

海溝, 活火山, 活断層
トモグラフィの信頼度





4.990 6.867 8.744


産総研の他DBとの連携

オンデマンド版

[English version here](#)

地図上に示された測線 (赤ライン) 端部のマーカー  をドラッグして、ページ左下の「描画」ボタン  を押せば周辺部の地質情報と地震波トモグラフィによる地下構造画像を描画できます。地震波トモグラフィとは、地震波を用いて地下の3次元的な物性値の分布を解析すること、あるいはその結果のことです。
描画例 (トモグラフィ画像の凡例)

Google Mapsに次のシームレス地質情報とその他の地質情報  を重ね描きできます。

- 地震の震央 (気象庁による全国の震源カタログ )
- 20万分の1日本シームレス地質図[®](凡例)。

なお描画リクエストごとにデータの切り出しと画像処理を行うので、画像表示までに数10秒 (領域の大きさによっては1分以上) かかります。一方、簡易版では測線を任意に決めることはできませんが、描画済の地下構造画像を大量にストックしてあります。瞬時に画像が表示されますので、そちらも併せてご利用ください。



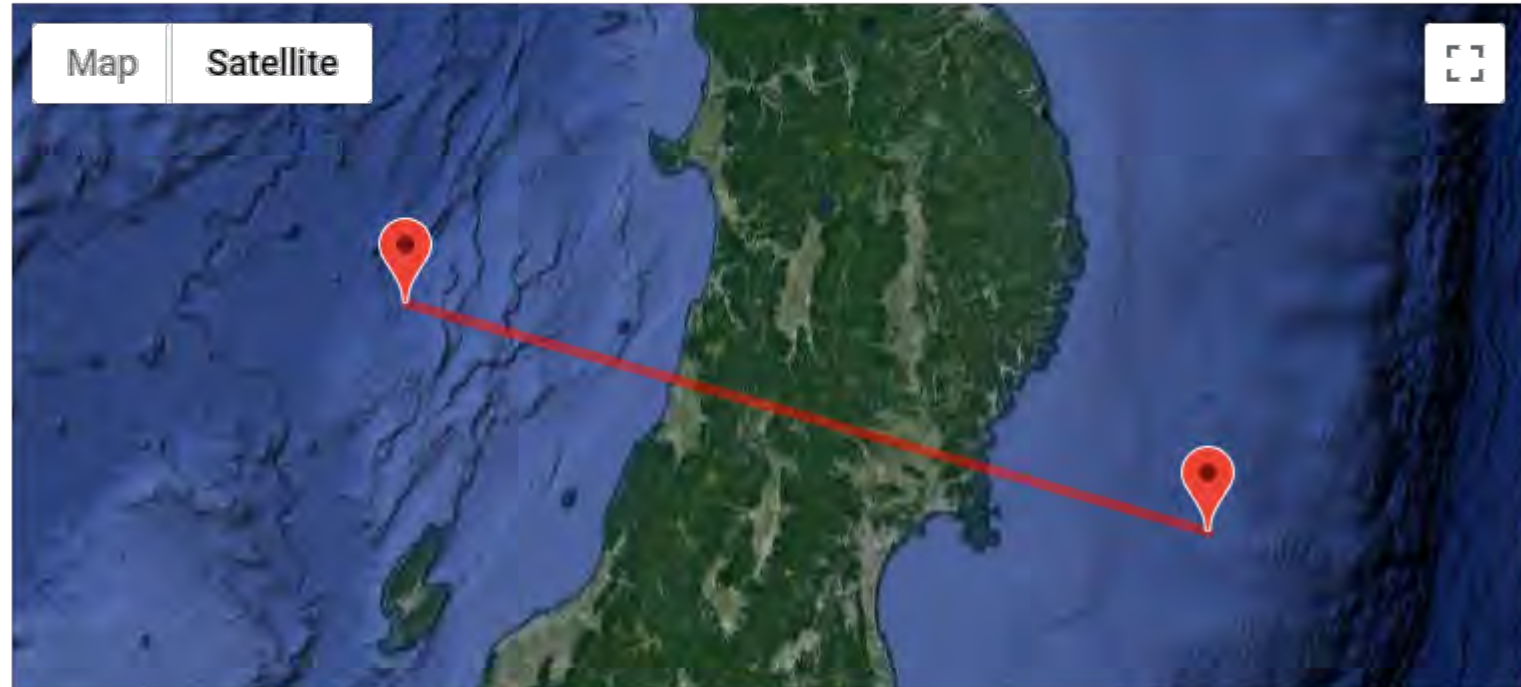
産総研の他DBとの連携

GoogleMapへの重ね描き

Google Mapsに次のシームレス地質情報とその他の地質情報 を重ね描きできます。

- 地震の震央 (気象庁による全国の震源カタログ ▾)
- 20万分の1日本シームレス地質図[®](凡例)。

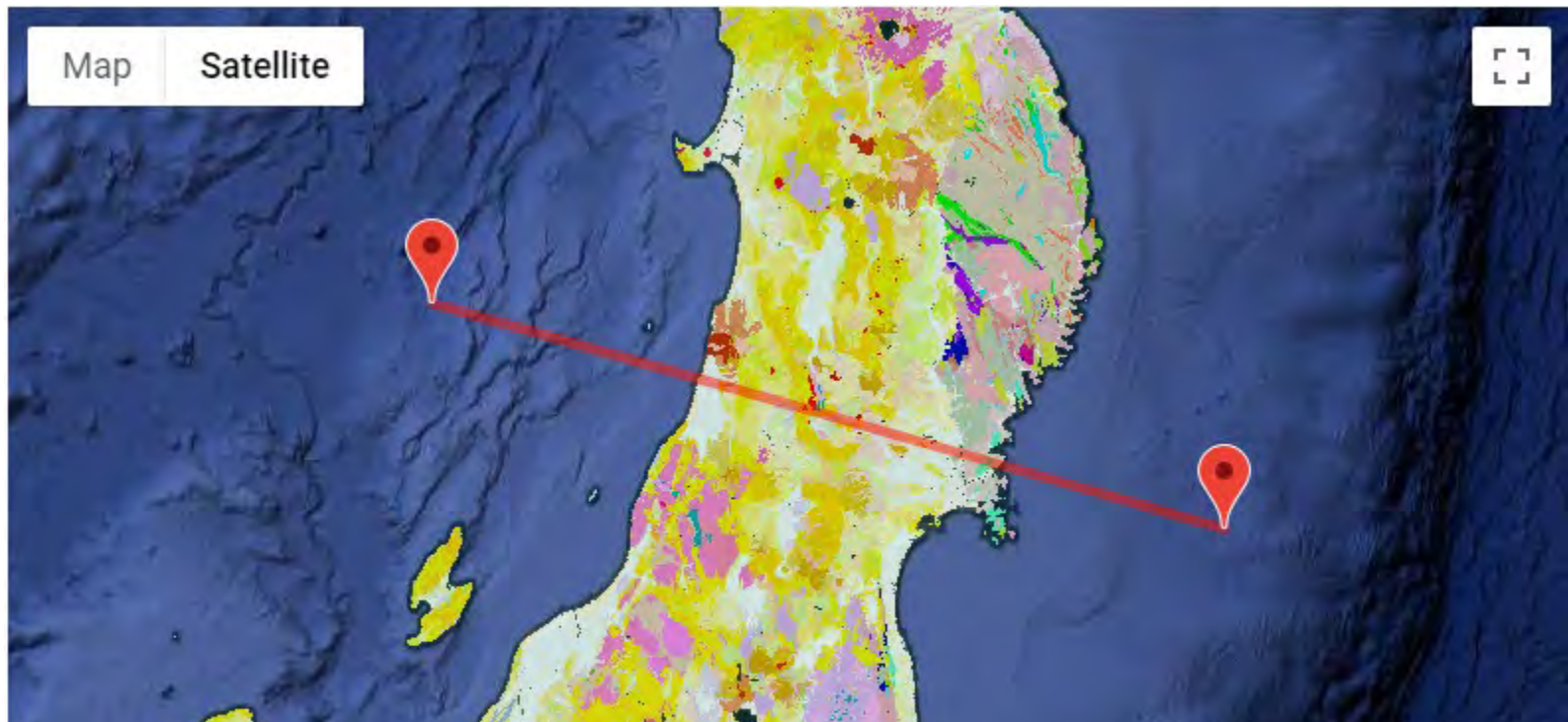
なお描画リクエストごとにデータの切り出しと画像処理を行うので、画像表示までに数10秒 (領域の大きさによっては1上) かかります。一方、簡易版では測線を任意に決めることはできませんが、描画済の地下構造画像を大量にストックします。瞬時に画像が表示されますので、そちらも併せてご利用ください。



産総研の他DBとの連携

GoogleMapへの重ね描き

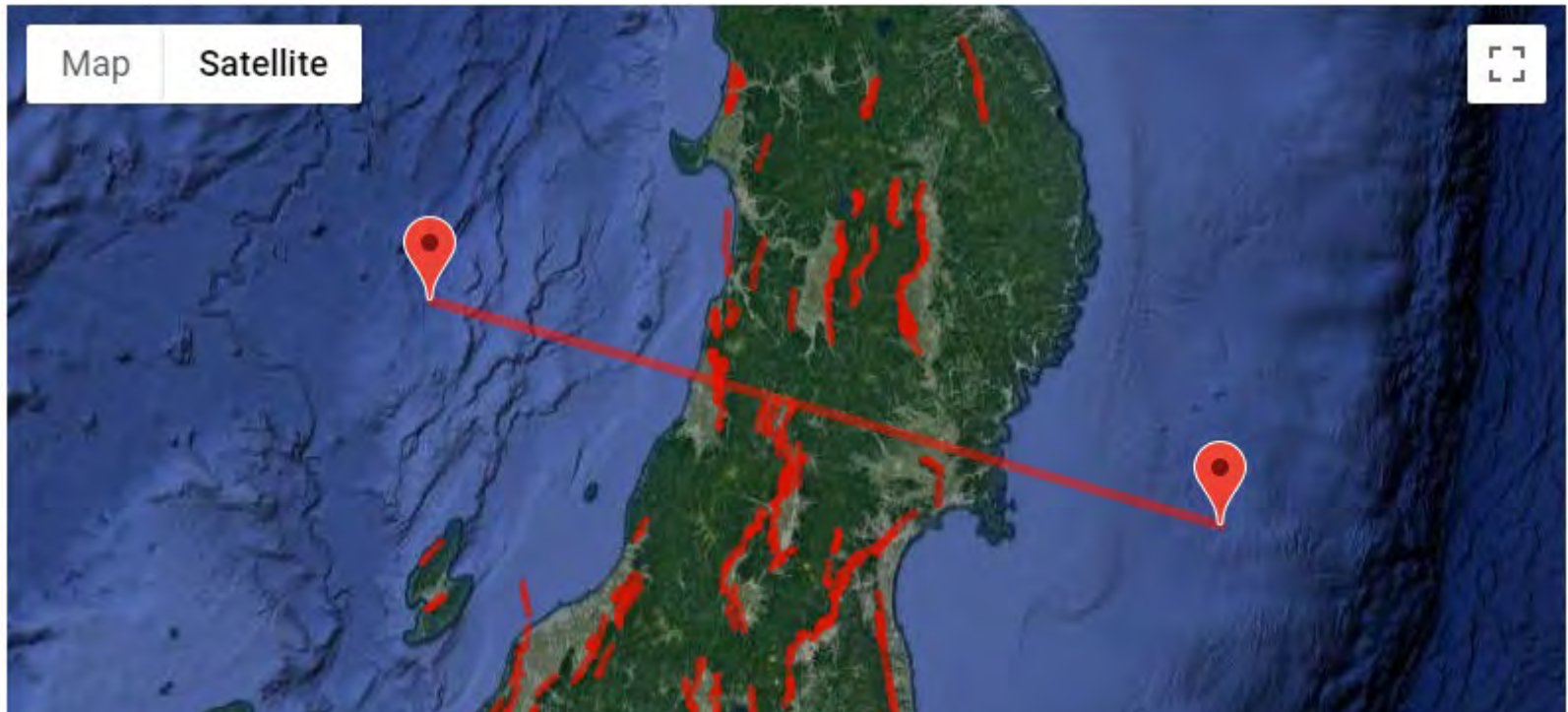
シームレス地質図



産総研の他DBとの連携

GoogleMapへの重ね描き

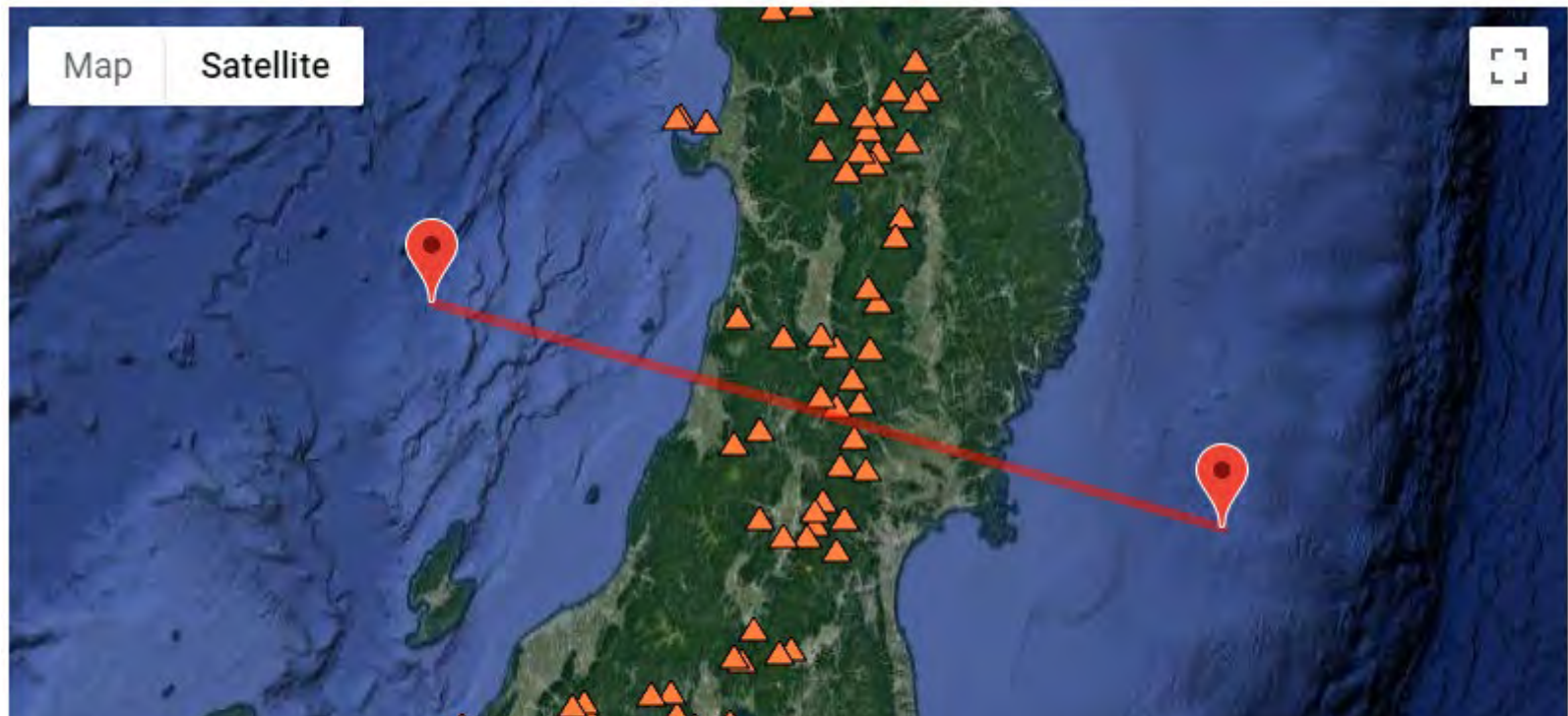
活断層DB



産総研の他DBとの連携

GoogleMapへの重ね描き

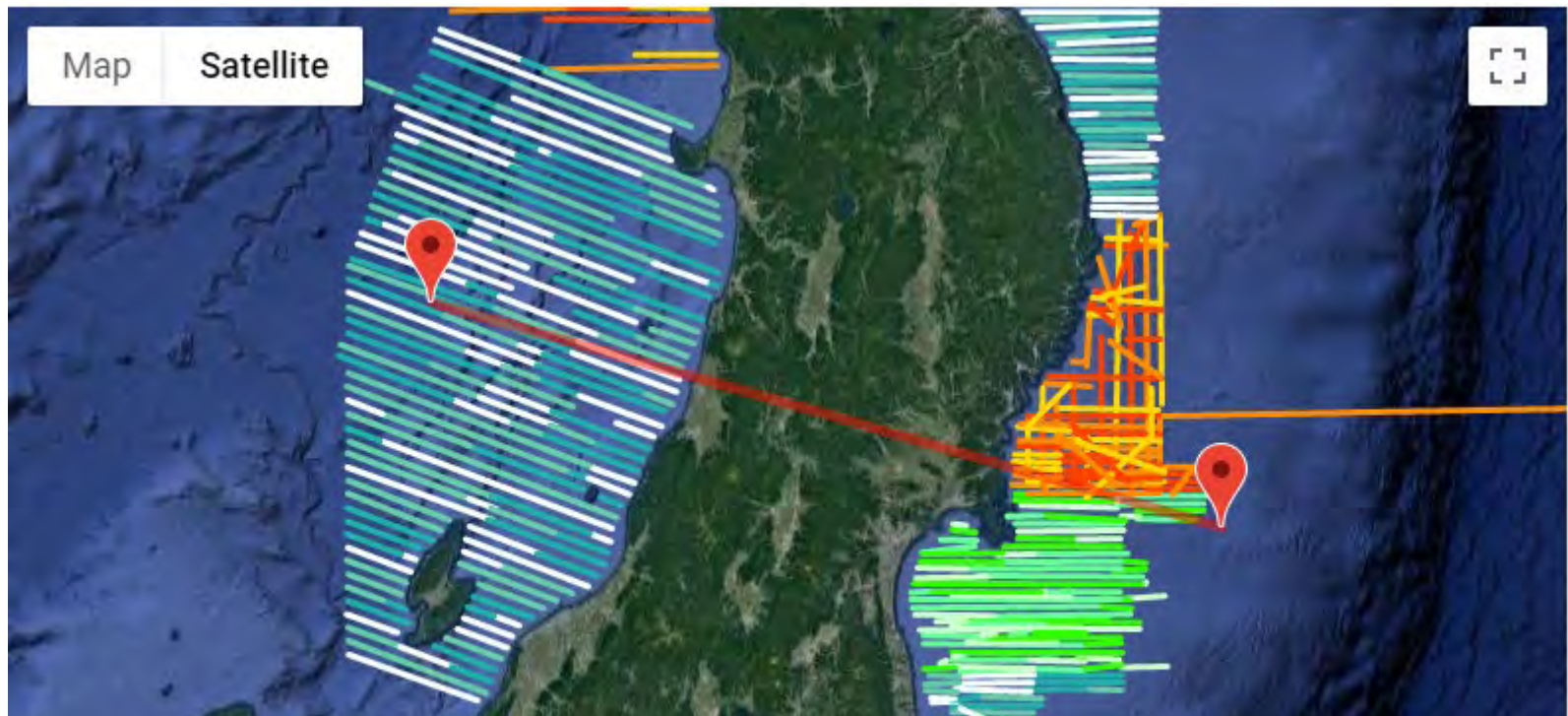
日本の火山DB



産総研の他DBとの連携

GoogleMapへの重ね描き

海域地質構造DB

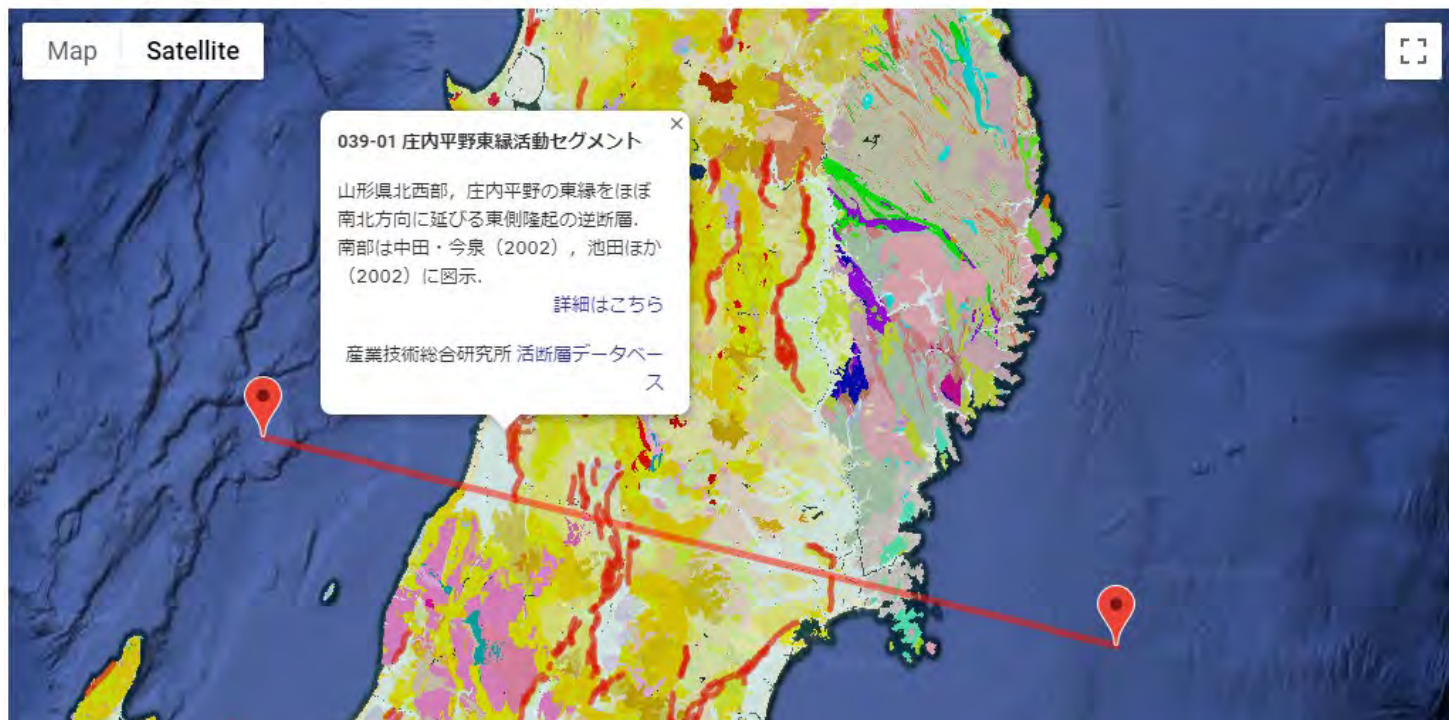


産総研の他DBとの連携

Google Mapsに次のシームレス地質情報とその他の地質情報 [メニューを表示](#) を重ね描きできます。

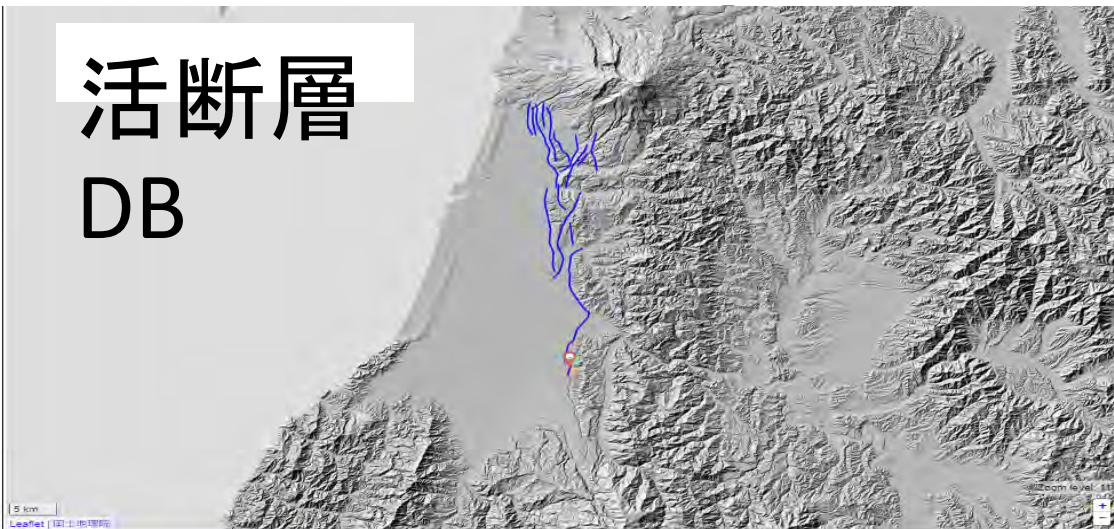
- 地震の震央（気象庁による全国の震源カタログ 2018 ▼）
- 20万分の1日本シームレス地質図®(凡例)。

なお描画リクエストごとにデータの切り出しと画像処理を行うので、画像表示までに数10秒（領域の大きさによっては1分以上）かかります。一方、簡易版では測線を任意に決めることはできませんが、描画済の地下構造画像を大量にストックしてあります。瞬時に画像が表示されますので、そちらも併せてご利用ください。



産総研の

活断層 DB



Google Mapsに次のシームレス地質情報と

- 地震の震央（気象庁による全国の震源データ）
- 20万分の1日本シームレス地質図®（凡例あり）

なお描画リクエストごとにデータの切り出しと（凡例あり）がかかります。一方、簡易版では測線を任意に指定できます。瞬時に画像が表示されますので、そちらをお試しください。

本図に示された断層線は、航空写真を1/20万地上で撮影したものであり、場所によっては最大数メートルの誤差がある可能性があります。また地図自体にも誤差がありますので、拡大してご利用の際はご注意ください。緑の色は活動セグメントの区別のために便宜上着色したものです。表示される断層線の幅は、実際の活動断層の幅を示すものではありません。

039-01 しまがねいへいせんとろん
庄内平野東縁活動セグメント
所属断層帯名：庄内平野東縁活動断層帯

一般走向	N 0° E
一般傾斜	45° E
長さ	37 km
断層型	逆
変位の向き(隆起側)	逆
平均変位速度	2.7 m/千年
単位変位	4.3 m
平均活動期間	1.6 千年
最新活動時期	野外調査結果
対応対応する内陸地帯	()
地震後経過率	()
将来活動確率(今後30年以内・BPT分布モデルによる)	()



039-01 庄内平野東縁活動セグメント

山形県北西部、庄内平野の東縁をほぼ南北方向に延びる東側隆起の逆断層。南部は中田・今泉（2002）、池田ほか（2002）に図示。

詳細はこちら
産業技術総合研究所 活断層データベース

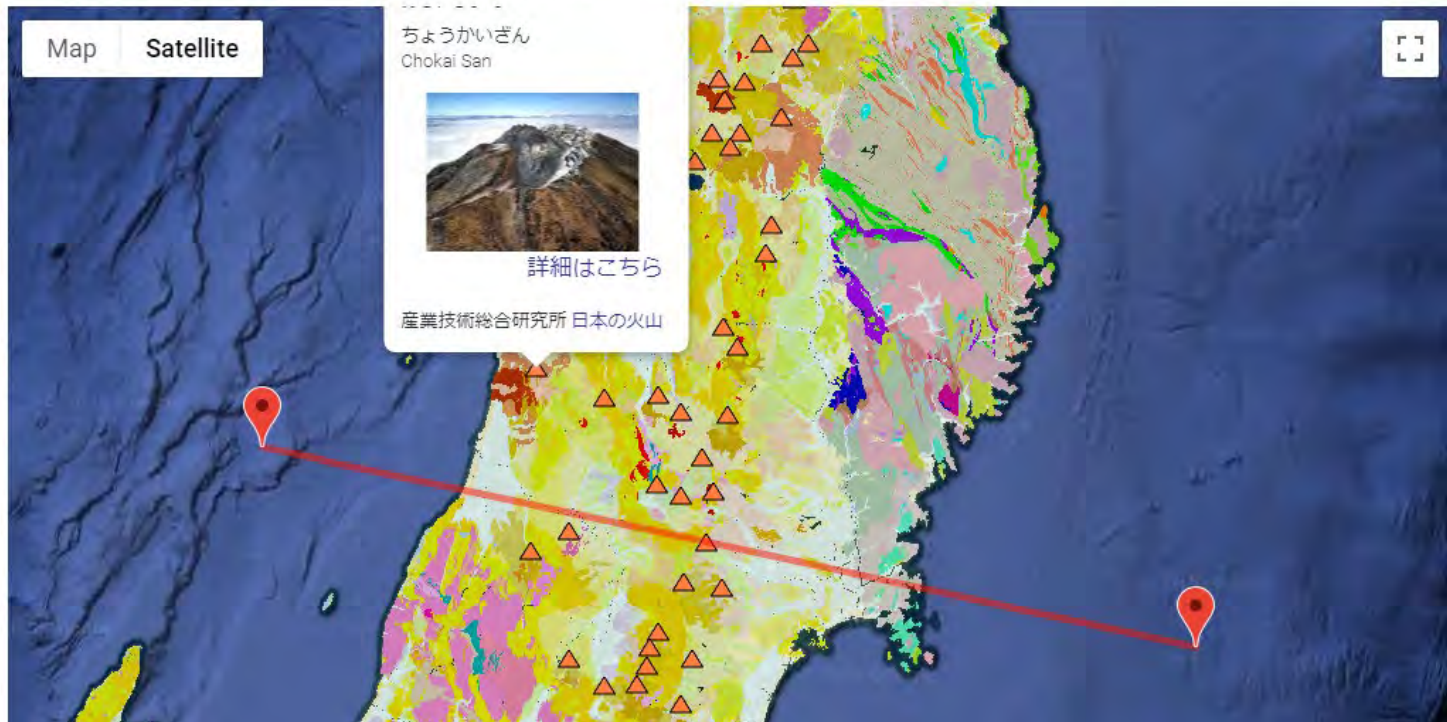
産総研の他DBとの連携

描画例 (ドモロンフライ画像の凡例)

Google Mapsに次のシームレス地質情報とその他の地質情報 を重ね描きできます。

- 地震の震央 (気象庁による全国の震源カタログ 2018 ▼)
- 20万分の1日本シームレス地質図[®](凡例)。

なお描画リクエストごとにデータの切り出しと画像処理を行うので、画像表示までに数10秒 (領域の大きさによっては1分以上) かかります。一方、簡易版では測線を任意に決めることはできませんが、描画済の地下構造画像を大量にストックしてあります。瞬時に画像が表示されますので、そちらも併せてご利用ください。



鳥海山 Chokai

Photo Gallery

火山詳細情報

1万年噴火イベント

文献一覧

日本の火山DB

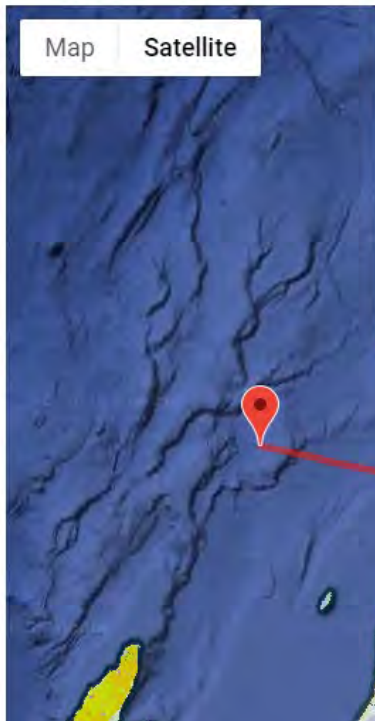
火山番号	D39
火山名	鳥海山
読み	ちょうかいさん
地域	本州 (東北)
旧番号 (第四紀火山DB) *	135
火山番号 **	D39
凡例記号 **	Q3m
主な活動期	中期更新世 - 完新世
活動年代・最新活動年 ***	約60万年前以降。最新の噴火：1974年
火山の型式・構造	複成火山、溶岩ドーム
卓越する岩質	中性
主な岩石 ****	安山岩、玄武岩
所在地 (都道府県)	秋田、山形: 地理院地図 (GSI Maps)
1/20万地勢図 (国土地理院)	新庄、酒田
1/5万地形図 (国土地理院)	鳥海山、吹浦、象潟、矢島
1/2.5万地形図 (国土地理院)	象潟、小砂川、吹浦、十里塚、前郷、川辺、鳥海山、湯ノ台、中直根
標高	新山 (しんざん)、2236 m
北緯 (世界測地系)	39° 05' 57"
東経 (世界測地系)	140° 03' 55"

挿画像 (ドモンソフイ画像の印刷)

Google Mapsに次のシームレス地質

- 地震の震央 (気象庁による全国の)
- 20万分の1日本シームレス地質図

なお描画リクエストごとにデータの切り出し (上) かかります。一方、簡易版では測線をります。瞬時に画像が表示されますので、



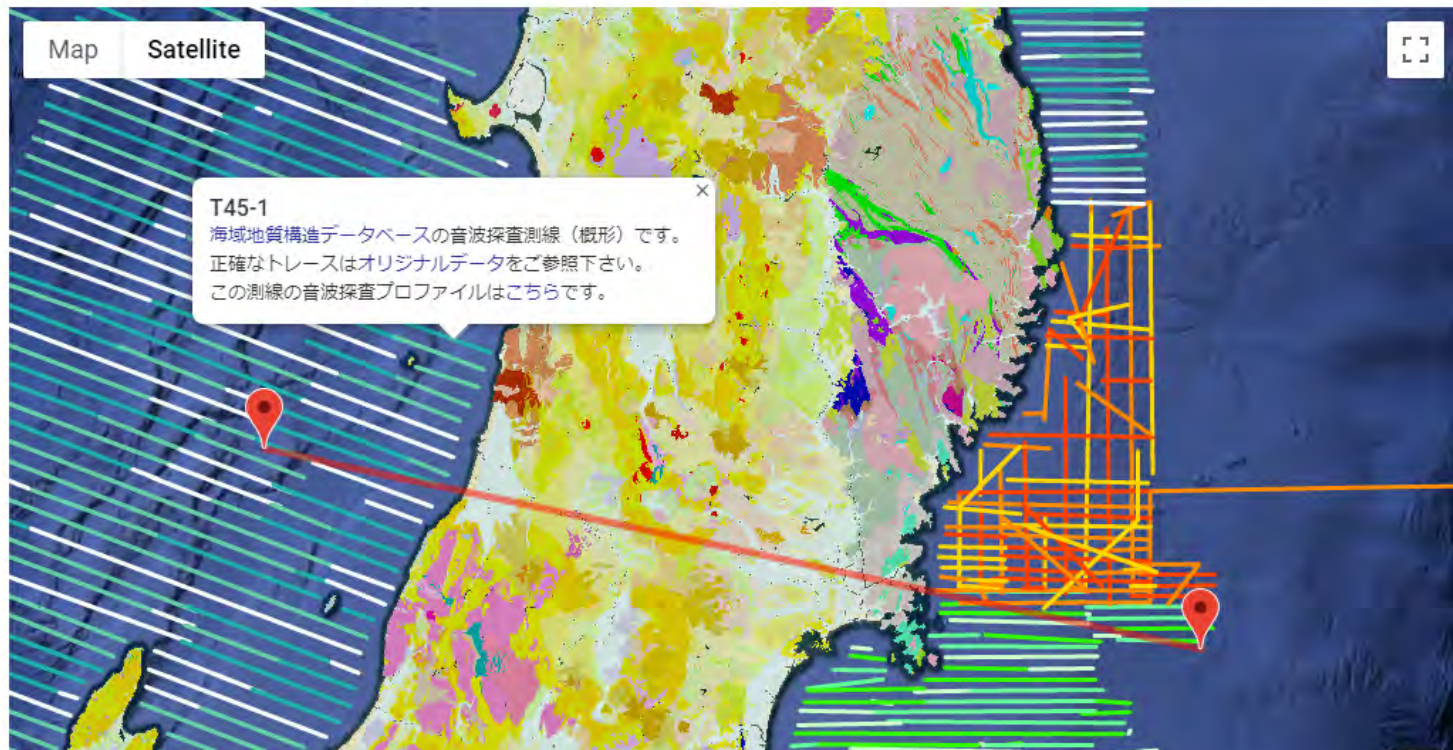
産業技術総合研究所 日本の火山

産総研の他DBとの連携

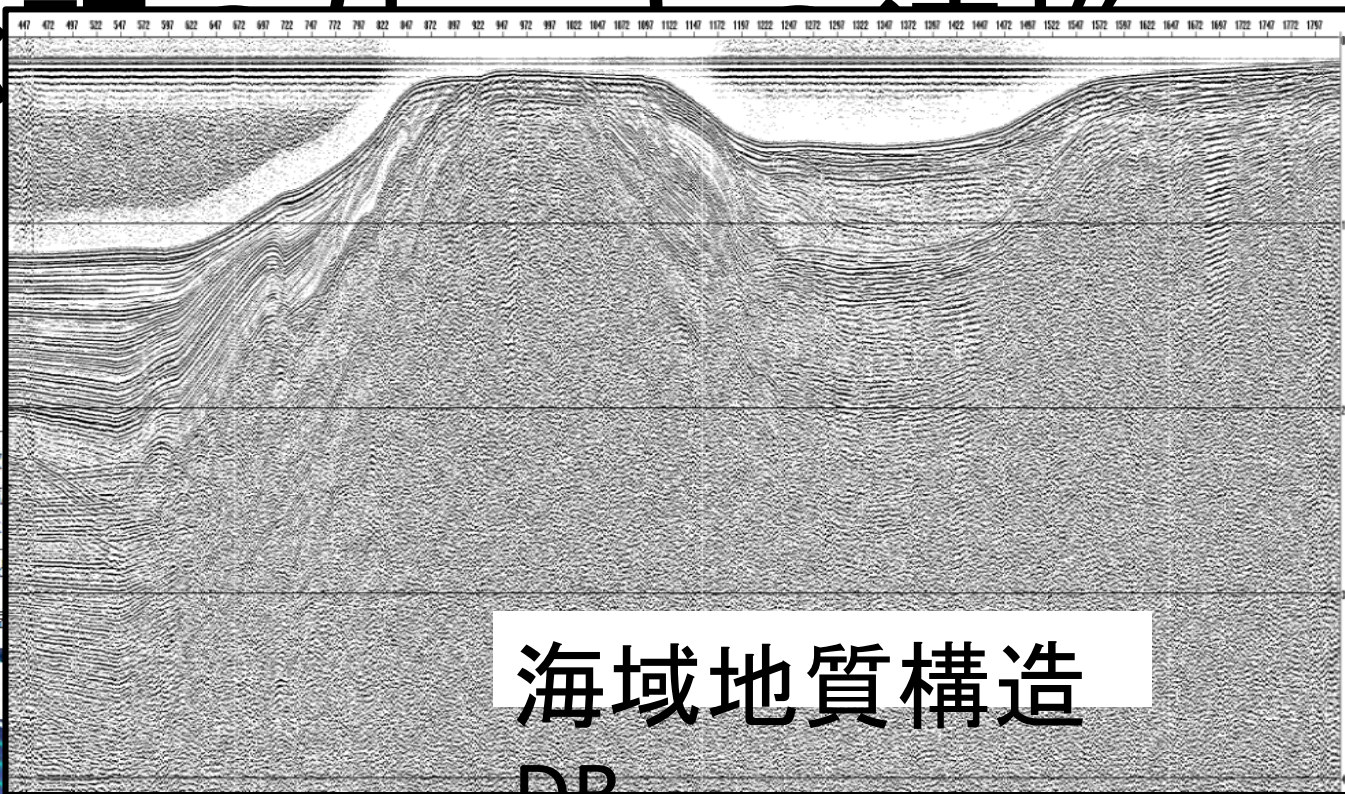
Google Mapsに次のシームレス地質情報とその他の地質情報 [メニューを表示](#) を重ね描きできます。

- 地震の震央 (気象庁による全国の震源カタログ [2018](#) ▼)
- 20万分の1日本シームレス地質図[®](凡例)。

なお描画リクエストごとにデータの切り出しと画像処理を行うので、画像表示までに数10秒 (領域の大きさによっては1分以上) かかります。一方、簡易版では測線を任意に決めることはできませんが、描画済の地下構造画像を大量にストックしてあります。瞬時に画像が表示されますので、そちらも併せてご利用ください。



産総



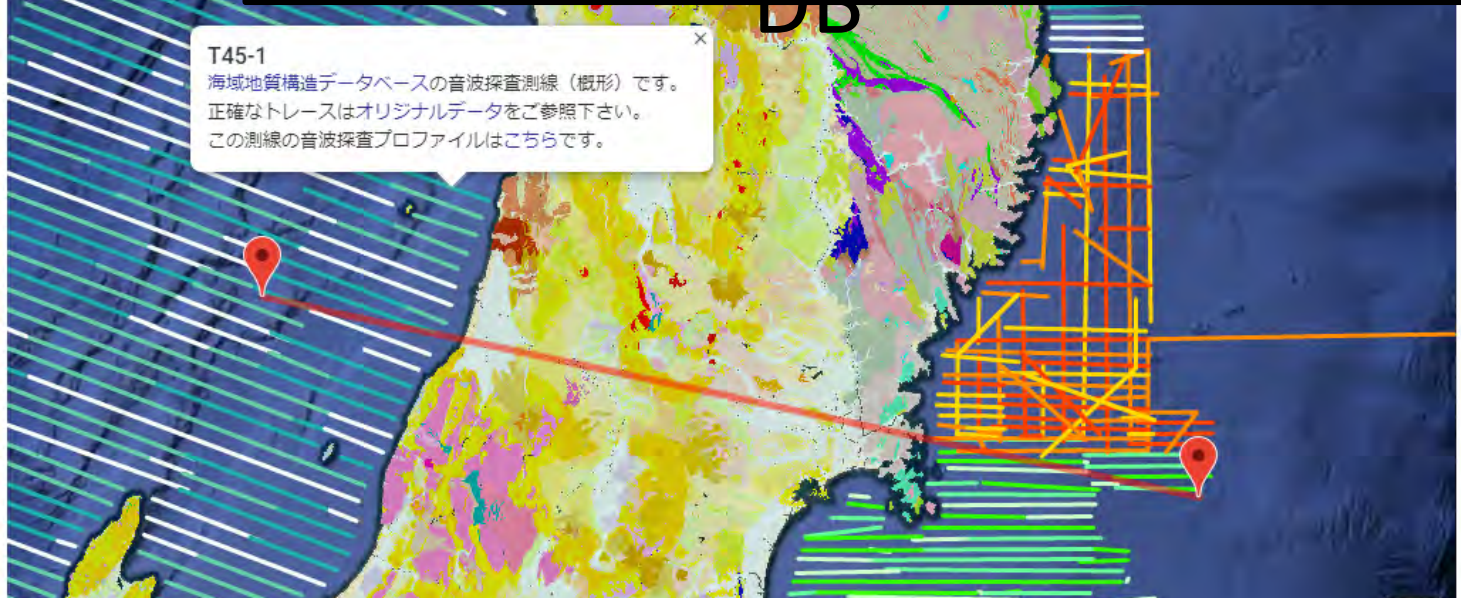
Google Mapsに次
 地震の震央 (気
 20万分の1日本

なお描画リクエストご
上) がかかります。一方、
ります。瞬時に画像が

Map Satellite

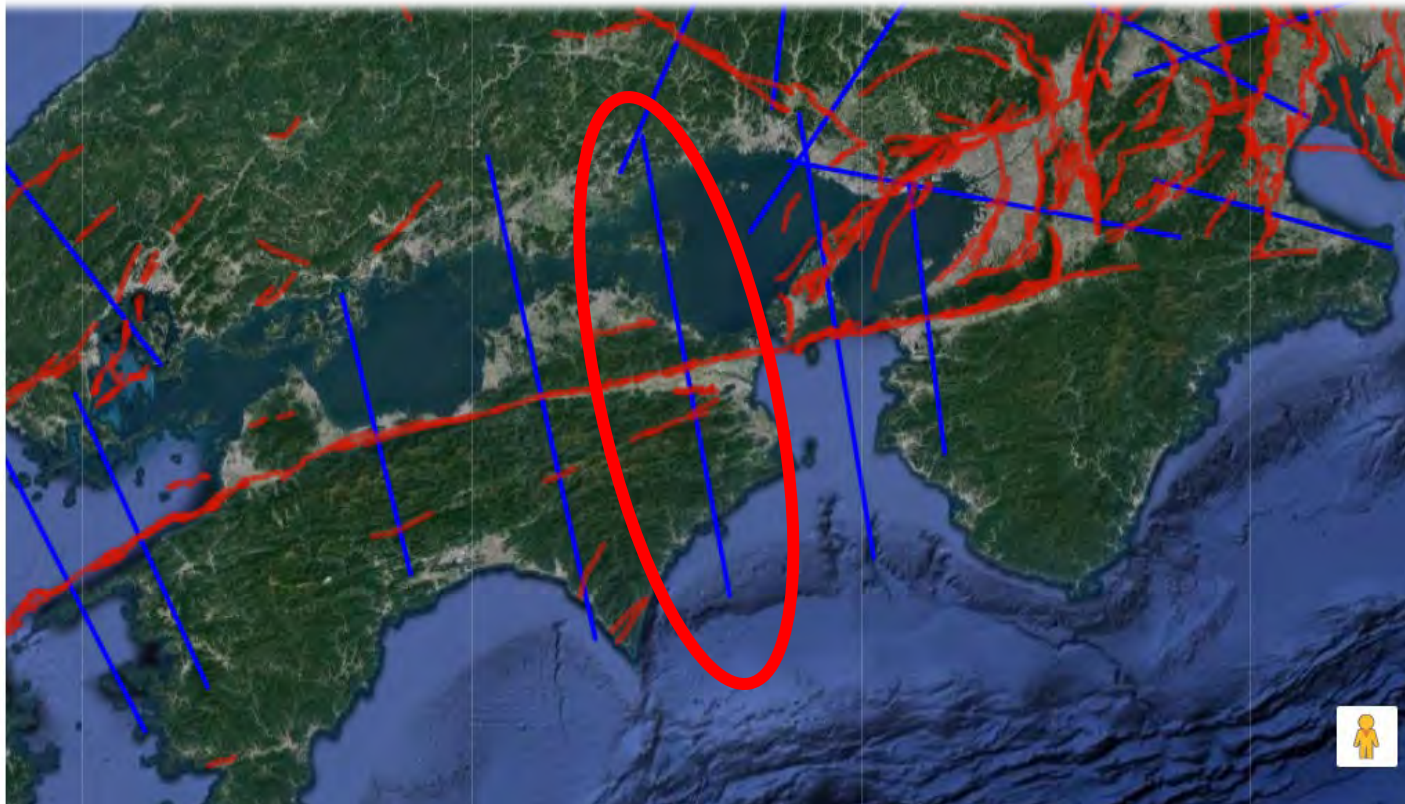
海域地質構造 DB

T45-1
海域地質構造データベースの音波探査測線 (概形) です。
正確なトレースはオリジナルデータをご参照下さい。
この測線の音波探査プロフィールはこちらです。



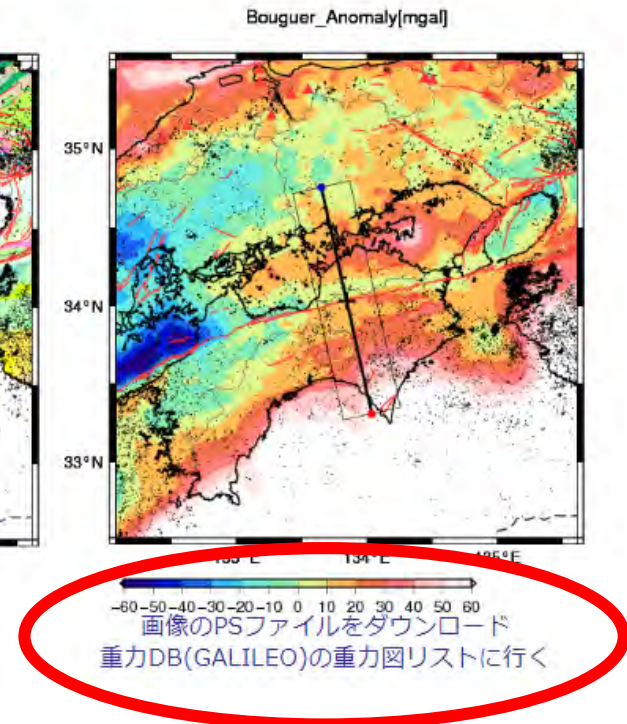
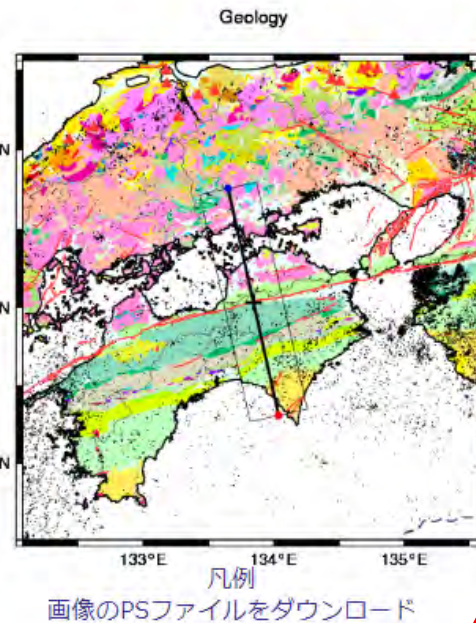
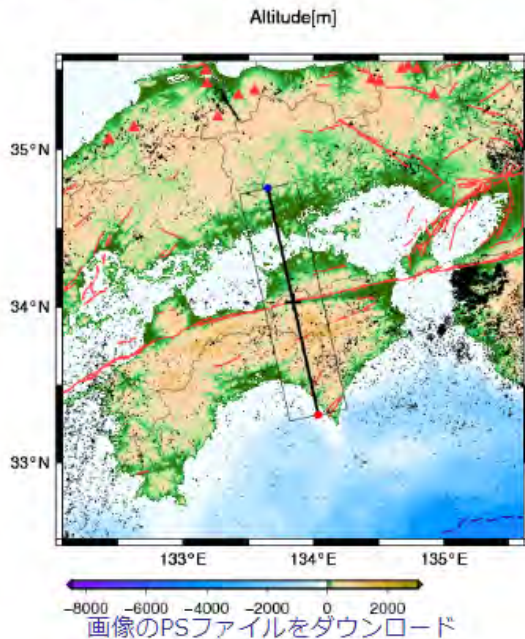
産総研の他DBとの連携

簡易版からも



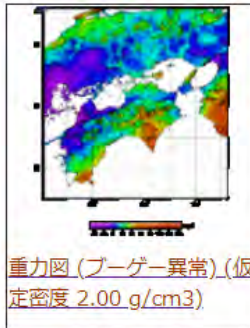
産総研の他DBとの連携

重力異常
地質
地形

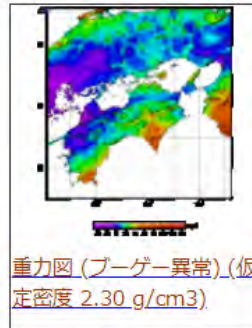


重力図リスト

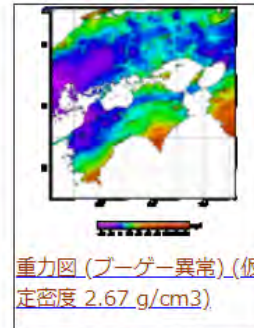
ここに掲載されている重力図は、重力データベースの重力図作成機能を使って、地下構造可視化システム簡易版の各領域の範囲に合わせて、あらかじめ作成したもので



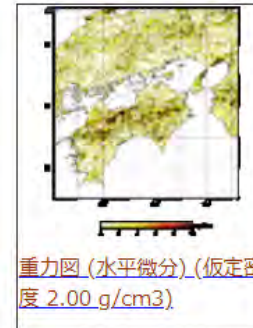
左 右



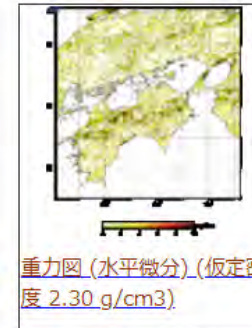
左 右



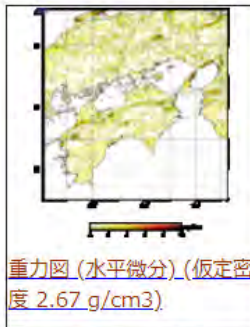
左 右



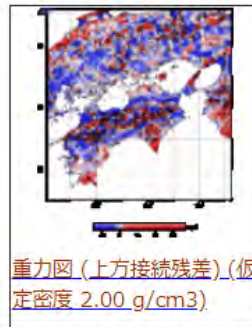
左 右



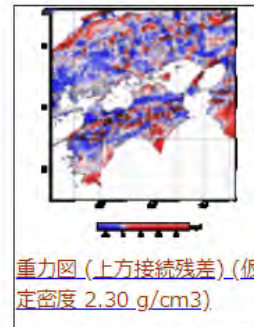
左 右



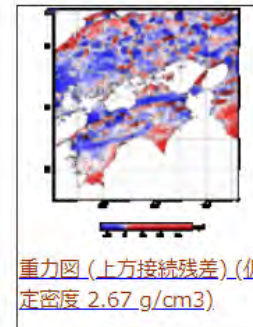
左 右



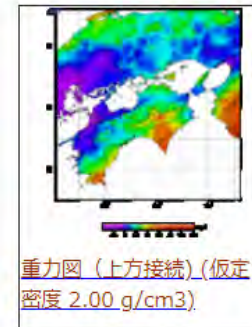
左 右



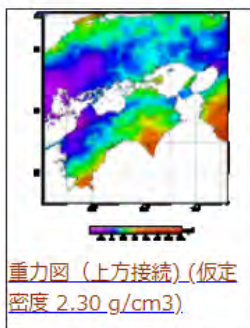
左 右



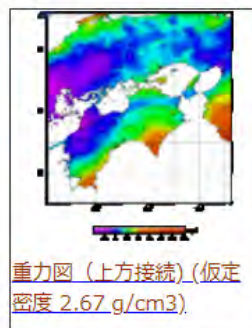
左 右



左 右



左 右



左 右

地形

重力DB

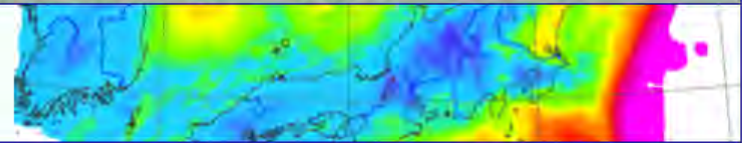
高度な処理済み画像集.
可視化システムの領域で.



ト
に行く

ここに掲載さ

重力データベース (GALILEO)



重力図検索(一般向け)

- DVD版
- CD版

[区画\(地域\)選択](#)
[区画\(一次メッシュ\)選択](#)
[緯度・経度指定](#)

重力基本図一覧

重力図作成(専門向け)

[図例集\(活断層領域\)](#)

概要

English

このデータベースでは、産総研が調査・編集してきた重力データを検索・閲覧することができます。

“[重力図検索\(一般向け\)](#)”では、事前に登録してある重力図(ブーゲー異常)を閲覧することができます。現在、3つ検索ページ([区画\(地域\)選択](#)、[区画\(一次メッシュ\)選択](#)、[緯度・経度指定](#))を用意しています。

登録されている重力図画像のうち、地質調査総合センターが紙で出版した重力図(特殊地質図を含む)については、“[重力基本図一覧](#)”ページにまとめています。重力図no.24から27については、解説も読むことができます。

“[重力図作成\(専門向け\)](#)”では、範囲・種類・仮定密度を指定して重力図を作成することができます。作図例として、地下構造可視化システム(簡易版)の活断層領域に対応した各種重力図をあらかじめ用意していますので、図例集をご覧ください。

ここで閲覧できる重力図画像は、地質調査総合センター発行の重力図シリーズ(一部、特殊地質図シリーズ)と数値地質図(日本重力CD-ROM第2版および日本重力データベースDVD版)に基づくものです。作図に使用している重力測定値・グリッドデータは、日本重力CD-ROM第2版に収録されているものです。

対応ブラウザについて:IE, Safari, Firefoxで動作テストを行っています。他のブラウザでは正確に表示されない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

質問・要望等は[問い合わせフォーム](#)へお願いします。

更新履歴

2014年7月1日 日本重力データベースDVD版収録の日本重力図データと、CD版データから作成した地下構造可視化システム(簡易版)の活断層領域に対応する各種重力図を追加しました。

2013年7月10日 URLを変更しました。青森・秋田重力基本図ページに文献(リンク)を追加しました。GEO-DB等のリンク切れを修正しました。

2010年4月26日 重力基本図画像データを登録し、重力基本図ページ(no.24-27は解説付)を公開しました。

重力DB

活断層領域一覧 （注：地図中の赤線は地下構造可視化システム簡易版の測線に対応しています）

- 測線 002-01 古多糠活動セグメント
- 測線 006-01 土幌活動セグメント
- 測線 006-02 途別川活動セグメント
- 測線 012-01 幌延活動セグメント
- 測線 013-01 増毛山地東縁活動セグメント
- 測線 015-01 馬追活動セグメント
- 測線 018-01 黒松内活動セグメント
- 測線 019-01 函館西活動セグメント
- 測線 022-01 津軽山地西縁活動セグメント
- 測線 023-01 折爪活動セグメント
- 測線 025-01 能代活動セグメント
- 測線 026-02 花巻活動セグメント
- 測線 033-01 北由利活動セグメント
- 測線 039-01 庄内平野東縁活動セグメント
- 測線 040-03 桑折活動セグメント
- 測線 048-01 百理活動セグメント
- 測線 048-03 浪江活動セグメント
- 測線 052-01 塔寺活動セグメント
- 測線 056-01 弥彦活動セグメント
- 測線 065-01 関谷活動セグメント
- 測線 071-01 鶴川活動セグメント
- 測線 075-02 国府津-松田活動セグメント
- 測線 081-02 善光寺活動セグメント
- 測線 084-01 神城活動セグメント
- 茅野活動セグメント
- 曾根丘陵活動セグメント
- 大鹿活動セグメント
- 水窪活動セグメント
- 入山瀬活動セグメント
- 魚津活動セグメント

重力DB⇔可視化システム
相互乗り入れ

まとめ

- ◆簡易版・オンデマンド版
- ◆活断層と地殻構造トモグラフィ, 地震震源
- ◆マップと鉛直断面/震源分布, プレート構造
 - Google Mapsへの地質情報の重ね描き
 - PSファイルへの重ね描き
- ◆産総研各種DBとの連携